

27-12月 常務理事会 会議議事録

日 時：平成 27 年 12 月 3 日（木）開始：19 時 00 分 から 終了：21 時 00 分

会 場：岡臨技事務所

出席者：会 長：岡本由美

総 務：木村泰治、藤岡克徳、植本美佐夫、前田敦子、栗谷純子、岩崎 学

学 術：中川裕美、佐藤達郎

渉 外：黒川幸徳、小林尚子、泉 礼司

陪 席：山本芳枝

委任欠席：高津昌吾、河口勝憲

出席 13 名、委任欠席 2 名

書 記：岩崎 学、 栗谷純子

議事録署名人：藤岡克徳、植本美佐夫

項目

- | | | |
|-----|--|--------------|
| 1) | 27-11 常務理事会会議議事録 | 12 - 01 |
| 2) | 平成 27 年度中間業務監査議事録 | 12 - 02 |
| 3) | 日臨技中四国支部連絡会議 | 12 - 03 |
| 4) | 日衛協中国支部;第 31 回中国地区臨床検査大会 | 12 - 04 |
| 5) | 平成 27 年度・第 4 回 OT3 会議 | 12 - 05 |
| 6) | 岡山県生活習慣病検診等管理指導協議会 | 12 - 06 |
| 7) | 小林孝一郎君を励ます会 | 12 - 07 |
| 8) | 来簡 11 月分報告 | 12 - 11 |
| 9) | 会計報告 11 月分 | 12 - 12 |
| 10) | 会員動向 11 月分 | 12 - 13 |
| 11) | 県北地区担当者会議議事録 | 12 - 14 |
| 12) | 日臨技臨時總會成立に関する協力について | 12 - 15 |
| 13) | 学術:一般検査部門会議議事録 | 12 - 21 |
| 14) | 学術:その他、
第 46 回岡山医学検査学会学術セミナー趣意書 | 12 - 22 |
| 15) | 総務:第 4 回瀬戸内ペースメーカーデバイスカンファレンス後援 | 12 - 61 ~ 63 |
| 16) | 総務:その他・宮島よしふみ君を励ます会 | 12 - 64 |
| 17) | 総務:その他・岡山県医師会平成 28 年新年祝賀会 | 12 - 65 |
| 18) | 総務.:その他・島臨技創立 65 周年・法人化 30 周年懸念式典 | 12 - 66 |
| 19) | 企画予算書:玉野地区講演会～血液自動分析装置
ヒストグラム・スキッタプロットの見方～ | 12 - 71 ~ 73 |
| 20) | 企画予算書:第 46 回岡山医学検査学会
～ 残余検体は誰のもの？ 検査業務・研究と倫理のはざ | 12 - 74 ~ 76 |

ま

21) 企画決算書:真庭地区講演会(10月30日、金田病院)	12 - 77
22) 講演会:血液 R - CPC的データの読み方(2月20日)	12 - 78
23) 講演会:輸血の困つたを解決する!(2月28日)	12 - 79
24) 渉外・企画決算書:第51回ソフトボール大会(11月1日)	12 - 81
25) 渉外・企画決算書:健康づくり講演会(11月14日)	12 - 82
26) 渉外・企画決算書:臨床検査展(11月14日)	12 - 83
27) 3ヶ月予定表	12 - 91

議 題:

. 議事録確認

- 27-11 理事会議事録 (岡本 資料 12-01)
 - *承認された
 - *交通費の渡し忘れの件、当事者より始末書提出あり
- 平成 27 年度中間業務監査議事録 (岡本 資料 12-02)
 - *承認された

. 行動報告

- 日臨技中四国支部連絡会議(11月6日:米子)岡本、木村、黒川、藤岡 (藤岡 資料 12-03)
 - ・検体採取講習会:中四国支部現在受講者 24.1%である、40%を目標とし呼びかけをする
 - ・臨時総会 28 年 1 月 23 日現在委任状 10 数%である、呼びかけをする
 - ・平成 28 年度中四国支部医学検査学会(第 49 回)高知県担当、検討課題で資料を CD でなく Web 利用とし経費削減を考えたい
 - ・大規模災害の協定締結:協力体制や対応など、検査試薬などの配給について岡田理事より近日中に連絡あり
 - ・日臨技への要望:ニューリーダー育成研修会成果の確認、再度終結し評価をする
:日臨技や県臨技どちらか片方のみの会員把握を明確にして欲しい
現在日臨技会員 5 万人中 625 名日臨技のみの会員
- 日衛協中国支部 第 31 回中国地区臨床検査大会(11月15日)岡本 (岡本 資料 12-04)
 - ・伊達参議院議員、江川日衛協会長、宮島会長の出席あり
- 平成 27 年度 第 4 回 OT3 会議(11月18日)木村、佐藤、前田 (木村 資料 12-05)
 - ・「病院ごっこ」をメインテーマ・小中学生対象
当会は、顕微鏡観察(血液・病理)、超音波検査(ゼリーに果物詰め観察)、血液型の検査など
臨床工学技師会(模擬手術室)、診療放射線技師会(パネル展示・クイズ形式)
 - ・診療放射線技師会より提案あり・座談会を行ない広報誌に掲載したい(認知度アップの目的)経費は今回は、診療放射線技師会が持つ
- 岡山県生活習慣病検診等管理指導協議会 胃がん・大腸がん部会(11月20日)(木村 資料 12-6)
 - ・岡山県のがん検診受診率が悪い
 - ・岡山県 30 代の死亡率が高い
 - ・胃がん検診に内視鏡検査の導入による問題点
- 小林孝一郎君を励ます会(11月23日)岡本会長出席 (岡本 資料 12-07)

・経過報告

1．総務担当関係

- 1) 来簡 11 月分報告 (藤岡 資料 12-11)
- 2) 会計報告 11 月分 (植本 資料 12-12)
- 3) 会員動 11 月分 (前田 資料 12-13)
 - ・再入会 1 名・・・会員数 1348 名
- 4) 総務担当者会議関係
 - ・開催なし
- 5) その他
 - ・ 県北地区担当者会議議事録 (小林 資料 12-14)
 - * 承認された
 - ・ 日臨技臨時総会成立に関する協力について (藤岡 資料 12-15)
 - * 承認された

2．学術担当関係

- 1) 学術担当者会議
 - ・開催なし
- 2) 学術・生涯部関係
 - ・ 一般検査部門会議議事録 (佐藤 資料 12-21)
 - * 承認された
- 3) 精度管理部関係
- 4) 出版部関係 (佐藤)
 - ・学会の抄録 7 件、論文 0 件・・・締め切りを今月中とし再募集する
ホームページ掲載する
 - ・広告も募集中
- 5) その他
 - ・ 第 46 回岡山医学検査学会学術セミナー趣意書について (佐藤 資料 12-22)
 - * 承認された

3．渉外担当関係

- 1) 渉外部担当会議
 - ・開催なし
- 2) 企画調査部関係
- 3) 企画青年部関係
- 4) その他

・協議事項

1．総務担当関係

- 1) 第 4 回瀬戸内ペースメーカーデバイスカンファレンスへの後援について (藤岡 資料 12-61～63)
 - * 承認された
- 2) 日本医療マネジメント学会第 16 回岡山県支部学術集会 (藤岡 当日資料)
 - * 承認された
- 3) その他
 - ・ 宮島よしふみ君を励ます会 (12 月 10 日:東京) (藤岡 資料 12-64)
岡臨技で券を 1 枚購入する

- ・ 岡山県医師会平成 28 年新年祝賀会（1 月 16 日）（藤岡 資料 12-65）
岡本会長出席
- ・ 島臨技創立 65 周年・法人化 30 周年記念式典（2 月 20 日：松江）（藤岡 資料 12-66）
岡本会長出席
- ・ 日臨技全国幹事にむけて（岡本）
平成 27 年度会員の意識調査、アンケート調査についてへの質問
他県の会員番号と施設名を参照させてほしい
精度管理調査、他県への参加について
通達文書、技師会あて・会長あてなどの区別
- ・ 来年度予算、各部会予算書を 12 月 25 日までに植本会計部長まで
- ・ 受領報告書を各部藤岡総務部長まで
- ・ 各部会議報告書を 2 週間以内に報告する
- ・ 交通費の変更 1 月から

2．学術担当関係

1) 企画予算書

- ・ 玉野地区講演会（2 月 25 日：玉野三井病院 会議室）（佐藤 資料 12-71）
～血液自動分析装置（佐藤 資料 12-72）
ヒストグラムス・キャットプロットの見方～（佐藤 資料 12-73）
*承認された
- ・ 第 46 回岡山医学検査学会（3 月 6 日：川崎医療短期大学）（佐藤 資料 12-74）
～残余検体は誰のもの？（佐藤 資料 12-75）
検査業務・研究と倫理のはざま（仮）～（佐藤 資料 12-76）
ワークショップの代わりに河口副会長講演
精度管理速報会の歩みと、クロスチェック 20 年を見据えて（仮）
*承認された

2) 企画決算書

- ・ 真庭地区講演会（10 月 30 日：金田病院 研修ホール）（佐藤 資料 12-77）
*一部確認、講師会員のため共催となるかを
*その他承認された

3) その他

- ・ 臨床血液部門講演会（2 月 20 日）パンフレット（佐藤 資料 12-78）
*承認された
- ・ 輸血部門講演会（2 月 28 日）パンフレット（佐藤 資料 12-79）
*承認された

3．渉外担当関係

1) 企画予算書

2) 企画決算書

- ・ 第 51 回ソフトボール大会（11 月 1 日：山田グリーンパーク）（泉 資料 12-81）
*承認された
審判団より会場の整備の要望あり
- ・ 健康づくり講演会（11 月 14 日：岡山コンベンションセンター）（小林 資料 12-82）

*承認された

次回開催場所の検討を考えてみては、との意見有

- ・ 臨床検査展（11月14日:岡山コンベンションセンター）（小林 資料12-83）

*承認された

3) その他

- ・ 記念史作成に当たり写真がない事より、今後事業報告書に写真を保存しては（木村）
保存方法など検討する
- ・ 新年互礼会1月9日（泉）

4. その他

- 1) 3ヶ月予定表（岡本 資料12-91）

・ 各種行事への役員派遣

1. 県医師会祝賀会へ岡本会長出席（1月16日）
2. 鳥根県臨床検査技師会創立65周年及び法人化30周年記念式典祝賀会へ岡本会長出席（2月20日）

・ 常任委員会等開催

1. 理事会開催日：平成28年1月9日（土）
2. 総務担当会議開催日：平成27年12月17日（木）
3. 学術担当会議開催日：平成27年12月17日（木）
4. 渉外担当会議開催日：平成27年12月17日（木）

議事録署名

下記に署名捺印する
一般社団法人岡山県臨床検査技師会

議長	岡本 由美	印
	藤岡 克徳	印
	前田 敦子	印

事務局関連来簡文書及び経過報告

12月1日受信：日技連選対本部事務局より「選挙対策についてのお願い」

受信：日臨技より「平成27年度『生涯教育推進研修会助成金』の送金について（通知）」
「会費の送金について」

受信：大阪府技より「会報 第323号」

受信：北海道技より「会誌 Vol.13 No.2」

受信：東京都技より「会誌 Vol.43 No.4」

3日受信：日本医療マネジメント学会事務局より

「日本医療マネジメント学会第16回岡山県支部学術集会 名義後援のご依頼」

受信：ヤマト運輸(株)より「請求書（会報11月号送料） 28,946円」

受信：愛知県技より「会報 12月号」

受信：チェスト(株)より「請求書（検査展用 スピロフィルター）19,440円」

受信：西日本メディカルリンク(株)より「請求書（検査展用 機器レンタル料）43,200円」

受信：リージョン(株)より「請求書（健康づくり講演会用広告料） 172,800円」

7日受信：岡山県栄養士会より「機関誌 第126号」

受信：中国電力より「請求書（12月分電気代）4,778円」

受信：榎本泰輝税理士事務所より「請求書（税務会計顧問料 平成27年11月）32,400円」

受信：N T Tより「次回口座振替のお知らせ（11月分）済生会 5,423円」

受信：群馬県技より「会報 440号」

受信：アスクール(株)より「請求書（検査説明講習会用 用紙代等） 88,249円」

受信：岡山県より「平成28年度秋の厚生労働省関係叙勲候補者及び褒章候補者の推薦について（依頼）」

9日受信：友野印刷(株)より「請求書（会報12月号） 10,800円」

10日受信：岡山県選挙管理委員会より「政治団体の収支報告書（平成27年分）の提出について（通知）」

受信：日臨技より「平成28年度会費について（調査）」

受信：(株)岡山シティエフエムより「請求書（スポット料）54,000円」

受信：三重県技より「会誌 Vol.38」「会報 No.310」

受信：岡山小児糖尿病協会より「第40回岡山小児糖尿病サマーキャンプ文集

14日受信：N T Tより「次回口座振替のお知らせ（12月分）事務所（TEL）1,838円」

「次回口座振替のお知らせ（12月分）事務所（FAX）2,594円」

受信：岡山県病院協会より「病院だより 12月号」

受信：大塚薬報編集部より「大塚薬報 No.711」

受信：黒住医学研究振興財団より「平成28年度第51回『小島三郎記念技術賞』推薦依頼」

「平成28年度第35回『福見秀雄賞』推薦依頼」

16日受信：逢沢一郎後援会事務所より「逢沢一郎新春の集いのご案内」

22日受信：スペースアップ新保管理組合より「請求書 管理費（1月分）33,000円」「月間管理報告11月」

受信：大阪府技より「会報 第324号」

24日受信：N T Tコミュニケ- ションズ(株)より「次回口座振替のお知らせ 済生会（OCN）2,106円」

「次回口座振替のお知らせ 事務所（OCN）4,104円」

受信：シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス(株)より「尿検査セミナーへの後援依頼」

25日受信：第15回中四国糖尿病研修セミナー事務局より「名義後援のご依頼」

平成 27 年度 技発文書および公印使用文書一覧表

No	日時	表題	発送先
212	12/1	第 46 回岡山県医学検査学会学術セミナーへのご参加について（お願い）	法人賛助会員
213	12/1	講演のご依頼	古株 靖久（中外製薬㈱）
214	12/1	講演のご依頼	林 栄子（岡山赤十字病院）
215	12/1	講演のご依頼	那須 篤子（岡山大学病院）
216	12/1	講演会講師派遣のご依頼	忠田 正樹（岡山赤十字病院 院長）
217	12/1	講演会講師派遣のご依頼	槇野 博史（岡山大学病院 院長）
218	12/1	「岡山医学検査」広告掲載について（お願い）	法人賛助会員
-	12/1	講演のお礼	猶本 良夫（川崎病院 副院長）
-	12/1	講演のお礼	前川 珠木（岡山大学病院 看護部長）
-	12/1	講演のお礼	安藤 美華代（岡山大学大学院）
-	12/1	講演のお礼	古垣 みゆき（人材開発マネジメント㈱）
-	12/1	講演のお礼	末盛 晋一郎（川崎医科大学 講師）
-	12/1	講演のお礼	花山 宜久（岡山大学病院 助教）
-	12/1	講演のお礼	荒谷 千登美（呉共済病院）
-	12/1	講演のお礼	油野 友二（北陸大学 教授）
-	12/3	講演のお礼	佐藤 達郎（倉敷成人病センター）
219	12/7	研究会（講習会）への後援のお願い（回答）	高橋 勝行（研究会代表世話人）
220	12/7	講演のご依頼	林 愛子（姫路赤十字病院）
221	12/7	講演のご依頼	有高 進悟（心臓病センター榊原病院）
222	12/7	講演のご依頼	横田 佳代子（倉敷中央病院）
223	12/7	講演会講師派遣のご依頼	佐藤 四三（姫路赤十字病院 院長）
224	12/7	講演会講師派遣のご依頼	岡崎 悟（心臓病センター榊原病院 院長）
225	12/7	講演会講師派遣のご依頼	小笠原 敬三（倉敷中央病院 院長）
-	12/7	講演のお礼	木下 敬一郎（鳥取赤十字病院）
-	12/14	講演のお礼	八木 靖二（がん研有明病院）
-	12/14	講演のお礼	石倉 寛子（岡山大学病院）
-	12/14	講演のお礼	米 亮祐（川崎医科大学附属病院）
226	12/22	講演のご依頼	渡部 俊幸（岡山大学病院）
227	12/22	講演会講師派遣のご依頼	槇野 博史（岡山大学病院 院長）
228	12/22	講演のご依頼	新保 文代（ベックマン・コールター㈱）
229	12/22	講演会講師派遣のご依頼	ベックマン・コールター㈱

収支計算書

平成27年 4月 1日から 平成28年 3月31日まで

12月

(単位：円)

一般会計

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 一般正味財産増減の部部				
1 経常増減の部				
(1) 受取入金	162,000	154,000	8,000	
正会員入会金収益	140,000	144,000	4,000	2,000円× 0名 累計 72名
個人賛助会員入会金収益	2,000	0	2,000	2,000円× 0名 累計 0名
法人賛助会員入会金収益	20,000	10,000	10,000	10,000円× 0社 累計 1社
(2) 受取会費	7,505,000	7,845,000	340,000	
正会員会費収益	6,600,000	6,780,000	180,000	5,000円× 0名 累計 1,356名
個人賛助会員会費収益	5,000	5,000	0	5,000円× 0名 累計 1名
法人賛助会員会費収益	900,000	1,060,000	160,000	20,000円× 0社 累計 51社
(3) 事業収益	3,081,000	2,412,000	669,000	
講習会事業収益	1,390,000	1,257,000	133,000	
講習会参加費収益	1,375,000	1,227,000	148,000	生物化学分析部門講演会 等 104,500円
講習会協賛金収益	15,000	30,000	15,000	
生涯教育研修事業収益	1,000	0	1,000	
展示広告事業収益	810,000	315,000	495,000	
広告費収益	490,000	315,000	175,000	
学会展示・セミナー費収益	320,000	0	320,000	1社 累計 9社
精度管理事業収益	880,000	840,000	40,000	0社 累計 0社
(4) 受取補助金等	1,600,000	943,550	656,450	
地方公共団体補助金収益	0	0	0	
生涯教育推進研究会助成金	1,600,000	943,550	656,450	100,000円
(5) 雑収益	112,000	2,997	109,003	
受取利息収益	10,000	2,997	7,003	定期預金利息
その他雑収益	102,000	0	102,000	
経常収益計	12,460,000	11,357,547	1,102,453	
2 経常費用				
(1) 事業費	7,323,000	4,679,396	2,643,604	
福利厚生費	561,000	428,525	132,475	ソフトボール大会諸費用 91,335円
旅費交通費	562,000	188,480	373,520	
県内旅費交通費	432,000	188,480	243,520	一般検査講演会(12/6) 等 22,960円
県外旅費交通費	130,000	0	130,000	
通信運搬費	105,000	0	105,000	
電話料	5,000	0	5,000	
切手類等	100,000	0	100,000	

収支計算書

平成27年 4月 1日から 平成28年 3月31日まで

一般会計

(単位:円)

科目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
接待交際費	30,000	0	30,000	
総会会場費	30,000	0	30,000	
学会負担費	160,000	30,000	130,000	
生涯教育研修事業費	1,410,000	1,235,583	174,417	
講師謝金	1,010,000	732,537	277,463	一般検査講演会(12/6)等
研修会場費	100,000	14,475	85,525	
研究会運営費	300,000	488,571	188,571	用紙・ﾌﾗｲﾙ等(検査説明講習会)
精度管理開催費	765,000	414,077	350,923	
精度管理費	605,000	414,077	190,923	精度管理調査行動費
精度管理研究費	150,000	0	150,000	
事業協力費	10,000	0	10,000	
印刷製本費	2,050,000	1,239,840	810,160	会報12月号印刷代
臨床検査展等会場費	1,200,000	652,212	547,788	健康講演会広告料等
表彰費	250,000	356,981	106,981	
雑費	200,000	133,698	66,302	
(2) 管理費	7,907,000	4,551,937	3,355,063	
給料手当	2,400,000	1,207,953	1,192,047	給料等
会議費	806,000	409,720	396,280	
理事会費	250,000	198,340	51,660	27-11月理事会(11/5)
総務部委員会費	180,000	58,620	121,380	
学術部委員会費	221,000	84,700	136,300	一般検査部門会議(11/24)
渉外部委員会費	140,000	68,060	71,940	
選挙管理委員会費	5,000	0	5,000	
諮問委員会費	10,000	0	10,000	
旅費交通費	300,000	156,839	143,161	
県内旅費交通費	100,000	49,719	50,281	ガソリン代
県外旅費交通費	200,000	107,120	92,880	
通信運搬費	950,000	715,264	234,736	
電話料	350,000	288,615	61,385	事務所等
切手類等	600,000	426,649	173,351	DM便(会報送付)等
消耗什器備品費	0	0	0	
消耗品費	1,200,000	853,099	346,901	リース代等
修繕費	50,000	0	50,000	
印刷製本費	200,000	31,320	168,680	
光熱水料費	70,000	57,902	12,098	電気代

収支計算書

平成27年 4月 1日から 平成28年 3月31日まで

一般会計

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
資料購入費	5,000	0	5,000	
事務所維持管理費	600,000	506,520	93,480	管理費等 35,484円
災害保険料	100,000	34,050	65,950	
諸謝金	400,000	291,600	108,400	税務会計顧問料(11月) 32,400円
租税公課	150,000	151,100	1,100	
関係諸団体費	120,000	75,500	44,500	中四国支部連絡会議懇親会費等 39,500円
慶弔費	30,000	0	30,000	
減価償却費	400,000	0	400,000	
雑費	126,000	61,070	64,930	お歳暮・振込手数料 5,184円
経費用計	15,230,000	9,231,333	5,998,667	
当期経常増減額	△ 2,770,000	2,126,214	△ 4,896,214	
II 経常外増減額の部				
1 経常外収益				
(1) 基本財産取崩収入	0	0	0	
(2) 特定資産取崩収入	250,000	0	250,000	
学術奨励引当資産取崩収入	250,000	0	250,000	
(3) 固定資産売却収入	0	0	0	
土地売却収入	0	0	0	
投資活動収入計	250,000	0	250,000	
2 経常外費用				
(1) 基本財産取得支出	0	0	0	
(2) 特定資産支出	400,000	0	400,000	
減価償却引当資産支出	400,000	0	400,000	
(3) 固定資産取得支出	0	0	0	
経常外費用計	400,000	0	400,000	
当期経常外増減額	△ 150,000	0	△ 150,000	
3 当期一般正味財産増減額				

会員状況(12月)

2014.11.28 ~ 12.25

会員数	1348(1348)
日臨技会員	1340(1340)
県のみ会員	6 (6)
個人賛助会員	2 (2)
法人賛助会員	59 (59)

()内は前月会員数

新(再/転)入会 0名

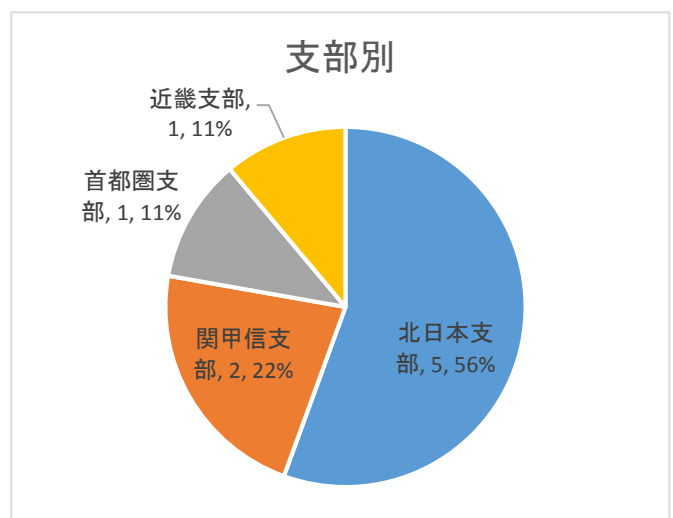
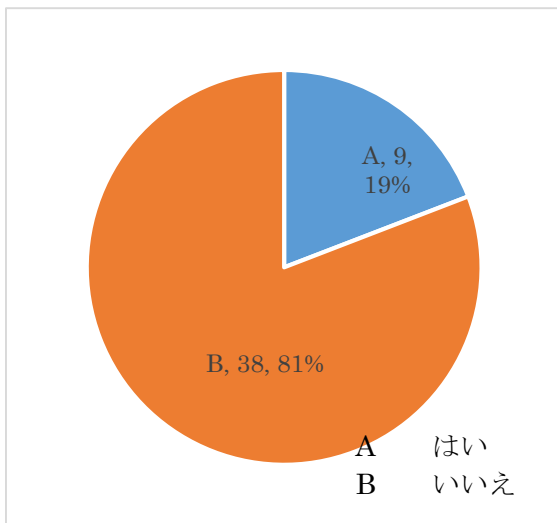
退会・転出 0名

《 災害時対応体制の実態調査 》

質問 I - 1

技師会の内部で災害に対する災害対策委員会又はWGなどが組織として構築されていますか？
(結果)

- A はい・・・9 都道府県 19%
- B いいえ・・・38 都道府県 81%



質問 I - 2

質問 I - 1 で A はい とお答えになった技師会に質問です。

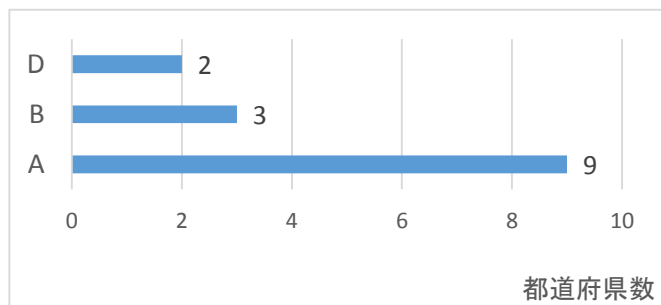
技師会内での災害に対する委員会は主にどのような活動を目的とされたものですか？

- A 被災された技師会の会員所属施設及び会員に対しての支援する目的
- B 他の団体からの要請に対して支援する目的
- C 災害時に、技師会が単体で被災地に行き、一般市民に対して支援をする目的
- D その他 (具体的にお答えください)

(結果)

回答	都道府県数	※複数回答可
A	9	
B	3	
D	2	

臨薬卸連合会・行政との協約、被災病院への試薬供給。開院の災害に対する意識向上会員の安否確認



質問 I - 3

質問 I - 1 で B いいえ とお答えになった技師会に質問です。

技師会内で近く委員会、WG などの組織を構築する計画がありますか？

もしあれば、その活動の目的は次のどれが近いですか？

A 計画がある

その目的は次のどれが近いですか？

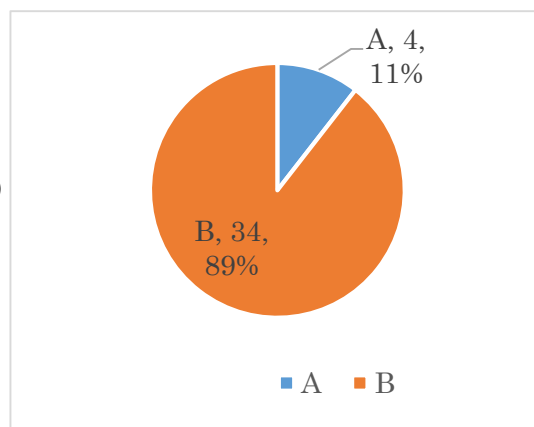
- a 被災された技師会の会員所属施設及び会員に対して支援をする目的
- b 他の団体からの要請に対して支援する目的
- c 災害時に、技師会が単体で被災地に行き、一般市民に対しての支援する目的
- d その他（具体的にお答えください）

B 計画は無い

(結果) A 計画はある・・・4

(内訳 a・・・2 b・・・3 c・・・2)

B 計画は無い・・・34



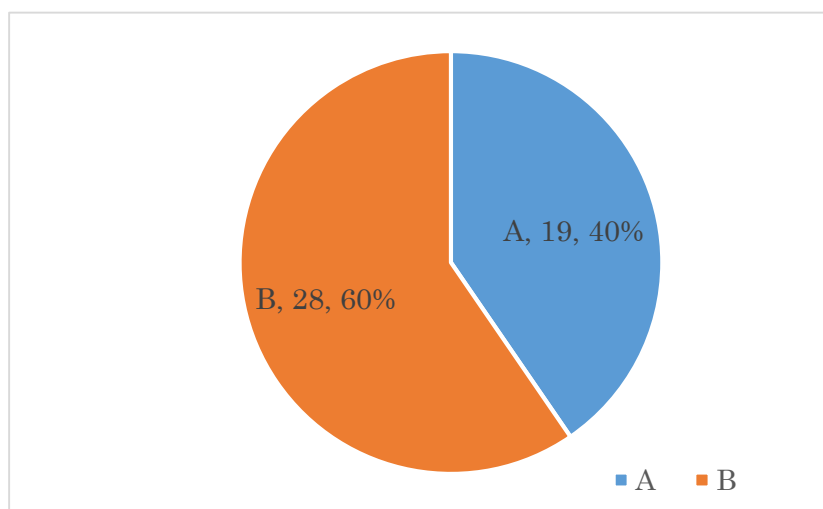
質問 II - 1

もし、地元が罹災したときに被災状況を調査するため、会員との連携・連絡方法は構築されておりますか？

(結果)

A はい・・・19

B いいえ・・・28



質問Ⅱ－２

質問Ⅱ－１で A はい とお答えになった技師会に質問です。

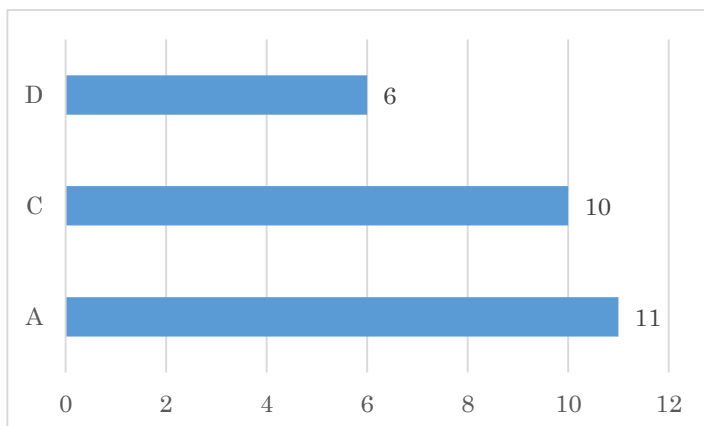
その、連携・連絡方法はどのようなものですか？

※複数回答あり

- A メーリングリスト・・・11
- B SNS など・・・1 (ツイッター)
- C 電話連絡・・・10
- D その他・・・6

※Dの内容

- ・幹部 - 理事 - 地区理事 - 施設 などの連絡網・・・4
- ・ホームページ・・・2
- ・安否確認システム



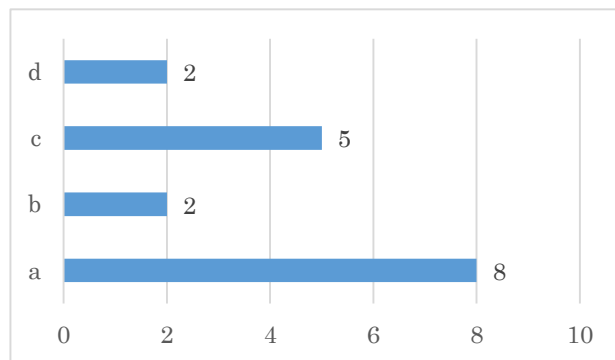
質問Ⅱ－３

質問Ⅱ－１で B いいえ とお答えになった技師会に質問です。

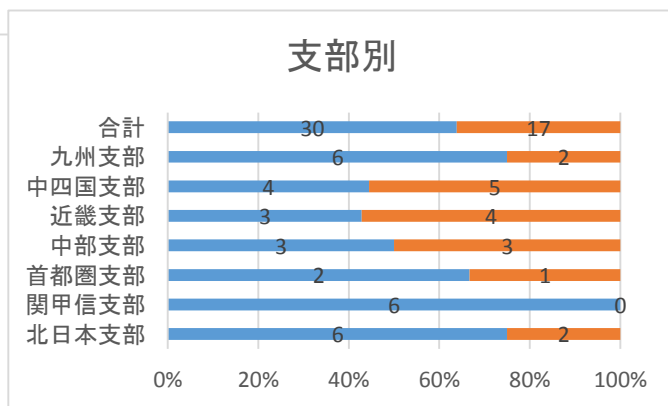
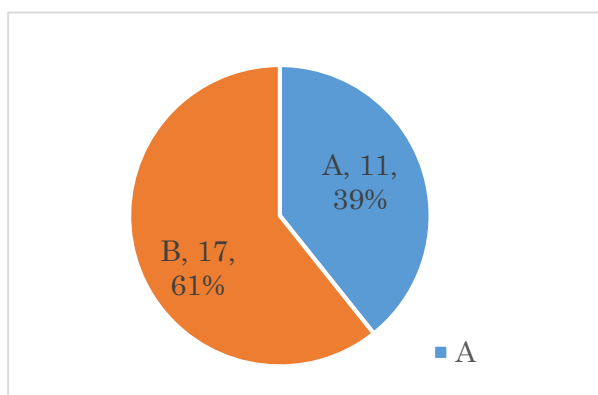
地元で被災状況を調査するため、被災した会員との連携・連絡方法を近く構築する計画があります、ますか？ もしあれば、その方法はどのようなものですか？

(結果)

- A 計画がある・・・11
その方法は？ ※複数回答あり
- a メーリングリスト・・・8
- b SNS など・・・2
- c 電話連絡・・・5
- d その他・・・2 (地区理事経由で調査・検討中)



- B 計画は無い



すでに連絡網のある技師会と計画がある技師会を含めると 30 の都道府県技師会で連絡網がされている (または計画がある) と言える

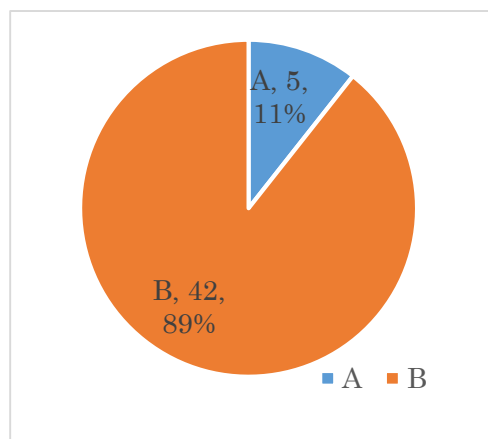
質問Ⅲ

災害支援において、技師会として他の団体と連携して被災地に支援する体制は整えられていますか？

(結果)

- A はい・・・5
- B いいえ・・・42

他の団体と災害の連携が全く取れていないと言える。



質問Ⅳ

質問Ⅲで A はい とお答えになった技師会に質問です。

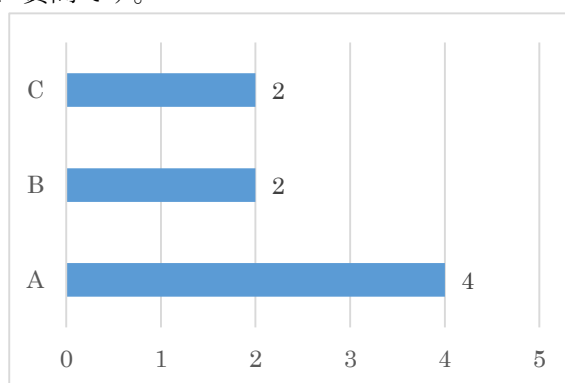
他の団体はどのようなものですか？

※複数回答あり

- A 行政・・・4
- B 各都道府県医師会 (JMAT)・・・2
- C その他・・・2

その他の内容

- ・日本臨床検査医学会
- ・医療系他職種団体



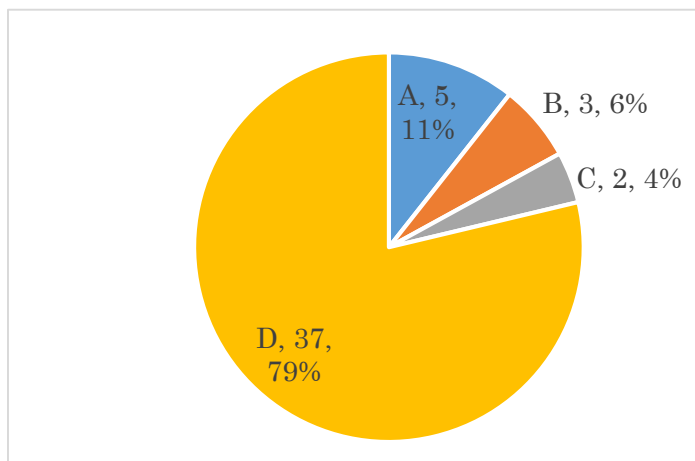
ある。と答えた技師会では行政との連携が取れている。また現在、医師会が中心に進めている JMAT については今後伸びていく可能性あり

質問Ⅴ

技師会で、災害に対して会員に意識づけするために何らかの活動をしていますか？

(結果)

- A 研修会などをやっている・・・5
- B 広報などで啓発を促している・・・3
- C その他・・・2
- D していない・・・37



災対して何か実施している技師会は
10 都道府県技師会
約 8 割の技師会が災害に対して、
現在何もしていない状態

ご協力ありがとうございました。

災害に対して日臨技にご意見がございましたら記載をお願いいたします

・当会ではメーリングツールを利用した災害時の安否確認を構築しているところですが、他県では、メーリングツールを利用する場合に個人情報の問題がありアドレスの登録が思うように集まらないことが問題になっています。何か回避できる解決法について日臨技としてもご検討いただければ幸いと存じます。

・災害発生時における日臨技と支部・同県技師会との連携について、システムとして具体的に考えている内容等はあるのでしょうか

・3.11では試薬の供給がままならない時期があったので、その後県内試薬問屋代表者と災害時の試薬供給体制について話し合った。災害時には最低限の供給体制を確保する内容となったが、特に文章を交わす事はしていない。日臨技で正式な文章を交わす等実績があれば参考にしたい。

・災害共済委員会は設置しているが活動内容は金銭的な支援であり、災害がないと活動しません。同委員会の再構築か対策委員会の立ち上げかなど、このアンケートを通して当技師会内で災害対策に関し論議を進める良いきっかけとなりました。今後、日臨技としてどのような事を実施していくのか？地臨技としてどのような事を実施していくべきか？しっかりと役割分担をしていく必要があると考えます。

災害時において、技師会としてどのような対応をするか、現時点では具体的な計画はありません。当技師会においての大きな課題の一つです。東日本大震災の時に何名かにはお見舞金を出しましたが、申告してきた会員だけに対応しました。チーム医療をテーマにした講習会で、災害時への対応に関しての講演を取り上げたことがあります。単発で終わっています。今後は、すでに活動している技師会さんを参考にさせていただいて、災害対応にむけて技師会としての対応を構築しなくてはいけないと考えています

・被災対策、災害支援の必要性は認識しておりますが、事業計画の展開がありません。本アンケートの結果を参考にして当会の災害活動を事業化したいと思います。

・看護師、薬剤師、臨床工学技士はそれぞれの組織で対応が来ています。まずは被災地の災害拠点病院に業務支援に行くことを考えてみては如何でしょうか？その時の調整をお願いしたいです。

「避難所ではインフルエンザ検査が…」となりがちですが公共交通機関が遮断されては自施設に行けません。近くの災害拠点病院への支援が良いと思います。やることは何も臨床検査だけでは無いです。ボランティアでも保険に入っていれば良いと思いますが、いかがでしょうか？箱根山も噴火しました。次は富士山ですか…

・富山県では各種団体が災害時に対して富山県との支援協力に関する協定の締結を行っています。当会でも最終的な目標として富山県との協定の締結を考えていますが、日臨技ではこのような動きはあるのでしょうか。もしもあれば締結までの手順書、あるいはすでに繋がっている他県の情報があれば提供していただきたいと思います。よろしく願いいたします。

・静岡県臨床衛生検査技師会は、災害に関する行動について体制作りされていないことに改めて気付きました。今後、他県の活動や取組み、また日臨技の取りまとめたアンケート情報を参考にして、当県理事会において検討していきたいと考えます。宜しくお願い致します

・今後行政等と連携を取った場合に人的なことは派遣できますが、機器類、物品、試薬など現地で活動するに当たり日臨技体制（支援）をしっかりと構築願いたい。

・日臨技の組織強化として災害対策委員会を立ち上げましたが、当会においても並行して平成 27 年度から渉外事業部の下に、災害対策検討委員会を立ち上げました。今後、日臨技や他技師会の動向を見ながら、災害対策マニュアルや連絡網などを作成していく予定です。また、会員、県民を対象にした災害フォーラムを昨年度から実施しており、継続していきたいと考えています。

・当県 主に基幹病院所属会員は、各職場にて災害等に対する対策などは構築されていると思われるが、現時点、技師会として対策は出来ていない。どの様なことが出来るかなど近隣技師会・他団体との情報交換を密にし、今後考えていきたい。過去 阪神大震災の時、技師会からの声掛けにより有志にて避難所などの消毒に行った経緯有。技師会として何かを構築をしていくとしても、各会員所属施設の職務規定などにより、技師会を優先に活動していくのも難しいと考える。この様なこともふまえ、日臨技としての方向性や、指針的なものを構築していただき、支部単位ぐらいで活動出来る体制づくりをお願いしたい。

・日臨技災害対策委員会での検討結果を参考に今後検討していきたい

・ひな形が整備されたら準備協議を行いたい

27-12 月 渉外担当会議議事録

日 時：平成 27 年 12 月 17 日（木）開始：19 時 00 分 から 終了：20 時 30 分

会 場： 技師会事務所 その他：（岡山済生会吉備病院 会議室）

出席者：泉礼司、長瀬由紀子、難波正博、高井隆吉、黄江泰晴、

小川浩司、関藤恭弘、上山海斗、尾崎弘明、小林尚子

欠席者：黒川幸徳、三宅康之、鳥越宣宏、谷口裕一、山根愛美、池田まどか

書 記：小林尚子

委任状：黒川幸徳、鳥越宣宏、山根愛美、池田まどか

議 題：

1) ソフトボール大会の反省と次年度への課題について

（反省）

- ・ホームラン大会は良かったが、紅白戦は参加していない人たちは寒かった。
- ・審判員によってルールが違っていた。

（次年度の課題）

- ・グラウンド整備は審判員のみだと 20 分かかるが、試合間を 10 分で組むのであれば、次回からは協力を。
- ・メンバー表について、書き換えや不正防止目的に印刷物にするか、鉛筆書きを認めないようにするか。

2) 「健康づくり講演会」「検査展」の反省と次年度への課題について

* アンケート集計結果配布

（反省）

- ・集客方法について、さらに課題の残る結果となった。
立地的には申し分ないが、会場への誘導が課題か？
- ・検査の項目、講演の内容については良い意見が多かった。（従来の検査項目に頸部エコー、認知症検査を追加した）

（次年度の課題）

- ・来年 11 月 26 日（土）に同場所を予約。但し、中四国学会 1 日目とかぶっており、会長、副会長不在の可能性あり。実務委員の招集は大丈夫か？
- ・集客については、広報活動を早めから始めること、魅力ある講演の開催に努める。
- ・他の場所での開催について

倉敷アリオ：予約は 4 か月前より。（10 月、11 月は、保健所、倉敷の病院の健康フェアあり。）

机、椅子などは全て利用者が準備して持ち込む。

* アンケートより、参加者の多くが岡山市内であり、次回の開催を楽しみにしている方も中にはおられる。

3) 新年互礼会について（催し物）

- ・泉理事提案のコーラスグループの出演が理事会にて認められた。
- ・黒川副会長提案の 100 円じゃんけん。

4) 「国民医療を守るための総決起集会」

1 月 10 日（日）17：00 岡山衛生会館 3 階 三木記念ホール

各部 10 名（ご家族 OK）

（ 黒川 ）（ 黒川奥様 ）（ 難波 ）（ 黄江 ）（ 泉 ）

(上山)() () () () ()

5) 平成 28 年度事業計画 (案)

今年度とほぼ同様

6) 平成 28 年度予算 (案)

今年度とほぼ同様

7) その他

- ・ 県内旅費見直しについて

平成 28 年 1 月より新県内旅費へ変更。

- ・ 小川浩司委員の連絡先変更について

勤務先：岡山東部脳神経外科 岡山クリニック

- ・ 木村副会長より、「春に体育館内でできる競技を計画してほしい」と要望あり。

(体育館なので天候を気にしなくてよいメリットあり)

前向きに検討する。

次回渉外部会議 平成 27 年 2 月日 (木)

平成 27 年 12 月吉日

一般社団法人 岡山県臨床検査技師会
会長 岡本 由美 様

積水メディカル株式会社
中国営業所 神田 清治

「第 10 回 積水セミナーIN 岡山」開催における後援について（お願い）

謹啓 師走の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。また平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度「第 10 回 積水セミナーIN 岡山」を下記の如く開催させて頂く運びとなりました。本会におきましては全国でご活躍されております慶応義塾大学医学部名誉教授の渡辺 清明先生をお迎えし、少しでも多くの技師の先生方にとって日頃の職務に役立つセミナーになればと思い開催致します。

つきましては、より一層充実したセミナーに致したく一般社団法人 岡山県臨床検査技師会様のご後援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

謹白

記

名称： 第 10 回 積水セミナー IN 岡山
日時： 平成 28 年 2 月 3 日（水） 19：00～20：30
場所： ホテルグランヴィア岡山 3F クリスタル
岡山市北区駅元町 1 - 6 TEL086 - 234-7000
内容： 「国レベルでの臨床検査の動向 どうすれば良いのか臨床検査技師？ - 」
講師： 慶応義塾大学医学部
名誉教授 渡辺 清明 先生
座長： 岡山大学病院 医療技術部
部長 岡田 健 先生
共催： 積水メディカル株式会社

問い合わせ先：積水メディカル株式会社 山崎 義宏

Tel 082-261-7862 Email : yamasaki038@sekisui.com

以上

第10回 積水セミナー in 岡山 SEKISUI

学術講演会のご案内

謹啓、新しい年を迎え、先生方におかれましては益々ご清栄のことと存じます。この度、慶應義塾大学医学部名誉教授 人間ドック学会理事 渡辺清明 先生をお迎えし学術講演会を企画いたしました。ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようご案内申し上げます。

謹白

日時 2016年2月3日(水) 19:00~20:30

場所 ホテルグランヴィア岡山 3F クリスタル

岡山市北区 駅元町1-6 (岡山駅 隣接)

Tel : 086 - 234 - 7000

参加費 無料 講演会終了後、情報交換会をご用意しております。

話題提供 「ノルディアL-FABPについて」

積水メディカル(株) カスタマーサポートセンター 松本 美枝

演題 「ノルディアL-FABPの基礎的検討」

岡山大学病院 医療技術部 内山 慶子 先生

座長 岡山大学病院

医療技術部 部長

岡田 健 先生

特別講演 『国レベルでの臨床検査の動向

- どうすれば良いのか臨床検査技師? - 』

慶應義塾大学医学部名誉教授、人間ドック学会理事

渡辺 清明 先生

後援：一般社団法人 岡山県臨床検査技師会

参加申込書

FAX : 082 - 261 - 7863

申込期限：1月25日(月)

お名前	ご施設名

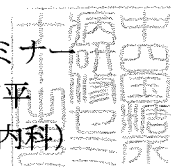
2015年12月吉日

一般社団法人 岡山県臨床検査技師会 御中

第15回中四国糖尿病研修セミナー

世話人 中西 修平

(広島赤十字・原爆病院 内分泌・代謝内科)



名義後援のご依頼

拝啓 霜寒の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび下記要領にて第15回中四国糖尿病研修セミナー（日本糖尿病学会中国四国支部主催）を開催いたします。本セミナーは、約500名の参加を予定し、糖尿病の診療、療養指導に携わる多くの職種の皆様に、日々の業務に役立つ幅広い情報を提供することにより、知識や技能の向上に寄与することを目的として行います。

つきましては、本会を開催するにあたり、貴団体の名義後援をお願いいたたく、ご依頼申し上げます。

誠に恐れ入りますが、後援の諾否を別紙の名義後援承諾書にご記入いただきまして、**1月15日(金)まで**にご返信いただきたく存じます。

末筆となりましたが、貴団体のますますのご繁栄をお祈り申し上げます。

敬具

記

会 名： 第15回中四国糖尿病研修セミナー
開催日時： 2016年3月13日（日） 9:00～16:11
開催会場： 岡山コンベンションセンター 3F コンベンションホール
岡山県岡山市北区駅元町14番1号 TEL: 086-214-1000
主 催： 日本糖尿病学会中国四国支部
世 話 人： 中西 修平（広島赤十字・原爆病院 内分泌・代謝内科）
連 絡 先： 第15回中四国糖尿病研修セミナー運営事務局
担当： 宗野・白神・宗高
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1 榊キョードープラス 内
TEL: 086-250-7681 FAX: 086-250-7682
E-mail: jdss15@wjcs.jp

以上

平成28年度 第35回
「福見秀雄賞」推薦依頼

拝啓 寒冷の候、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、本財団の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本事業は、元国立予防衛生研究所長故小島三郎博士のご遺徳を永く記念すべく、1965（昭和40）年4月創設され、その記念事業の一つとして「小島三郎記念文化賞」と「小島三郎記念技術賞」が設定されております。

1980（昭和55）年5月、小島三郎記念技術賞の創設15周年を記念して、小島三郎記念技術特別賞（福見秀雄賞）を設定致しましたが、1983（昭和58）年5月に「福見秀雄賞」と改称して毎年1回選考を行うことになりました。

本賞は、臨床検査ならびに衛生検査領域に半生を捧げ、技術の開発、向上に努力し、かつ、後進の指導育成に貢献のあった方に贈呈するものであります。

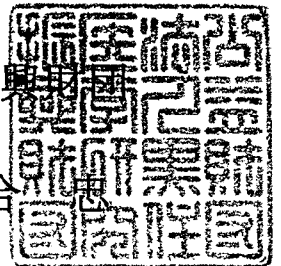
つきましては、貴殿より次頁の審査規定をご参照の上、本賞該当者のご推薦を賜わりたくお願い申し上げます。

敬具

平成27年12月吉日

公益財団法人 黒住医学研究振興財団

代表理事・理事長 河合



※公益財団法人 黒住医学研究振興財団の事務局は
東京都台東区台東4-19-9 山口ビル 栄研化学（株）内にあります

TEL03-5846-3504 FAX03-5846-3514 URL <http://www.kmf.or.jp/>

平成 28 年度 第 35 回 「福見秀雄賞」 審査規定

1. 本賞は「福見秀雄賞」と称する。
2. 本賞は、臨床検査ならびに衛生検査領域に半生を捧げ、技術の開発、向上に努力し、かつ、後進の指導育成に貢献のあった者に贈るものである。
3. 本賞は、特に臨床衛生検査に関与する実務者(技師)であり、また、その領域で功績のある者を対象とする。
4. 本賞の審査は、本財団が委嘱した選考委員がこれを行う。
5. 推薦は、本財団が関係領域の学識経験者に委嘱するのを原則とする。
6. 受賞者は 5 名以内とする。
7. 本賞の審査は毎年 1 回行う。

附則

- (1) 推薦用紙は、本財団ホームページよりダウンロードしてご使用ください。(年度毎に改訂されますのでご注意ください)
- (2) 平成 28 年 4 月 1 日を以って満 60 歳以上を選考対象とします。
- (3) 小島三郎記念技術賞受賞者の推薦はご遠慮ください。
- (4) 締切りは平成 28 年 2 月 12 日 (金) 必着とします。
- (5) 送付先

(切り取ってご使用ください)

〒110-8408

東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル 7

栄研化学(株) 内

公益財団法人 黒住医学研究振興財団御中

本賞の第34回までの受賞者は次の方々です

第1回 1980年(昭55)5月	1.青木義雄氏 4.中里脩一氏 7.真鍋眞之氏	2.杉本末治氏 5.西山一男氏 8.水田勲氏	3.鈴木謙司氏 6.藤山順一氏 9.吉澤藤平氏
第2回 1983年(昭58)5月	10.飯田環三氏	11.斎藤一男氏	12.長岡文氏
第3回 1984年(昭59)5月	13.栗原貞次郎氏 16.萩島壽子氏	14.鈴木黎児氏 17.宮崎繁氏	15.高本厚氏
第4回 1985年(昭60)5月	18.小嶋福太郎氏 21.萩原鐘一氏	19.月足正成氏	20.西畑秦次郎氏
第5回 1986年(昭61)5月	22.石丸鉦子氏 25.吉田金三氏	23.岸正弘氏	24.笹原武夫氏
第6回 1987年(昭62)5月	26.秋山昭一氏 29.工藤次郎氏	27.稲福盛栄氏 30.富川栄一氏	28.甲斐幸作氏 31.三浦辰三郎氏
第7回 1988年(昭63)5月	32.岡山虎男氏 35.山本幸直氏	33.北林滋氏 36.吉岡稔氏	34.古田十三男氏
第8回 1989年(平1)5月	37.井手壽夫氏 40.星野辰雄氏	38.宇夫方貞夫氏 41.森本和夫氏	39.廣瀬浩士氏
第9回 1990年(平2)6月	42.大木忠昭氏 45.住家明氏	43.大日南逸美氏 46.持田正行氏	44.城山萬喜治氏
第10回 1991年(平3)5月	47.片平宏氏 50.杉山繁雄氏	48.小林元康氏 51.藤本昇氏	49.佐藤春枝氏 52.山本進氏
第11回 1992年(平4)5月	53.稲福全昌氏 56.山岸幸造氏	54.江口定衛氏 57.山内勝彦氏	55.後藤恒子氏
第12回 1993年(平5)6月	58.川西功躬氏 61.中原節氏	59.高橋正雄氏 62.和田浩氏	60.高見壽夫氏
第13回 1994年(平6)5月	63.池田昭次氏 66.平沢政人氏	64.川原浩二氏 67.目崎芳朗氏	65.木藤勝美氏
第14回 1995年(平7)5月	68.宇野澤高春氏 71.正司房氏	69.木村角次氏 72.須永隆雄氏	70.下杉彰男氏
第15回 1996年(平8)5月	73.磯貝元男氏 76.林田蓉子氏	74.奥村次郎氏 77.松本侘也氏	75.中井利昌氏
第16回 1997年(平9)5月	78.北村清吉氏 81.米屋乃夫子氏	79.後藤直昭氏	80.菅原弘一氏
第17回 1998年(平10)5月	82.加藤仁氏 85.古谷信滋氏	83.軍司光夫氏 86.山屋駿一氏	84.鳴海正毅氏
第18回 1999年(平11)5月	87.金城幸永氏	88.鶴田公一氏	89.早田繁雄氏
第19回 2000年(平12)5月	90.太田拔徳氏 93.中村茂孝氏	91.竹森紘一氏	92.早川清也氏
第20回 2001年(平13)5月	94.上野一誠氏 97.平良洋一氏	95.小林紀崇氏 98.徳本弘氏	96.杉本好氏

第21回 2002年(平14)5月	99.秋山利行氏	100.神永陽一郎氏	101.西田政明氏
第22回 2003年(平15)5月	102.工藤正十三氏 105.松本昭一郎氏	103.坂牧紀一氏 106.片山勝利氏	104.片山善章氏
第23回 2004年(平16)5月	107.梅橋豊蔵氏 110.後藤清氏	108.大橋繁夫氏 111.深田靖彦氏	109.川端邦弘氏
第24回 2005年(平17)5月	112.占部勇二氏 115.森田寛二氏	113.滝沢旭氏	114.福田邦昭氏
第25回 2006年(平18)5月	116.亀井喜恵子氏 119.土井久平氏	117.川西孝氏 120.森井卓郎氏	118.高橋綾子氏
第26回 2007年(平19)5月	121.浅井正樹氏 124.向井正彦氏	122.朝山均氏	123.藤澤桂子氏
第27回 2008年(平20)5月	125.今村文章氏 128.立脇憲一氏	126.白石幸雄氏 129.廣瀬英治氏	127.滝澤通氏
第28回 2009年(平21)5月	130.上原信夫氏 133.鈴木悦氏	131.五内川里子氏 134.日野浦雄之氏	132.清水敏夫氏
第29回 2010年(平22)5月	135.高加国夫氏 138.前川芳明氏	136.嶋田勇氏 139.村上澄子氏	137.福村幸仁氏
第30回 2011年(平23)5月	140.天谷初夫氏 143.下瀬洋一氏	141.神白和正氏 144.畠外美子氏	142.熊谷俊子氏
第31回 2012年(平24)5月	145.岩下淨明氏 148.原島典子氏	146.高村利治氏 149.鷺谷清忠氏	147.畑川清美氏
第32回 2013年(平25)5月	150.小崎繁昭氏(一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 元 会長) 151.谷口 薫 氏(学校法人山陽女学園山陽女子短期大学臨床検査学科 准教授) 152.宮城 景正氏(社会医療法人仁愛会浦添総合病院 元 副院長 現 株式会社オーシャン・ヘルス・コーポレーション 代表取締役社長) 153.山本 慶和氏(天理医療大学医療学部臨床検査学科 特任講師)		
第33回 2014年(平26)5月	154.小沼 利光氏(東京都済生会向島病院 院長補佐) 155.下村 弘治氏(文京学院大学大学院保健医療科学研究科 教授) 156.長迫 哲朗氏(福岡市立病院機構福岡市民病院検査部 前 技師長) 157.山本 貞明氏(医療法人社団睦心会あさなぎ病院検査室 臨床検査技師) 158.若林真理子氏(前 公益財団法人新潟県保健衛生センター 事務局次長 臨床検査技師)		
第34回 2015年(平27)6月	159.佐野 和三氏(日本大学病院臨床検査部 技術長) 160.柴田 宏 氏(北陸大学新学部設置準備室 教授 前 島根大学医学部附属病院検査部 臨床検査技師長) 161.遠田 栄一氏(社会福祉法人三井記念病院中央検査部 部長) 162.三村 邦裕氏(千葉科学大学危機管理学部医療危機管理学科 教授)		

平成 28 年度 第 51 回
「小島三郎記念技術賞」推薦依頼

拝啓 寒冷の候、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、本財団の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本事業は元国立予防衛生研究所長故小島三郎博士のご遺徳を永く記念すべく、1965（昭和40）年創設され、その記念事業の一つとして「小島三郎記念技術賞」が設定されております。

本賞は、臨床検査ならびに衛生検査領域において優れた検査方法、術式の考案改良を行い、検査技術の普及発展に功績のあった方に贈呈するものであります。

つきましては、貴殿より次頁の審査規定をご参照の上、本賞該当者のご推薦を賜りたくお願い申し上げます。

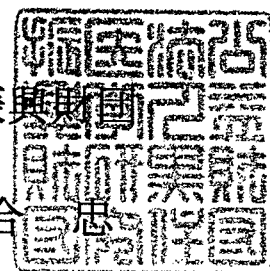
敬具

平成 27 年 12 月 吉日

公益財団法人 黒住医学研究振興財団

代表理事・理事長

河合 忠



※ 公益財団法人 黒住医学研究振興財団の事務局は

東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル7 栄研化学株式会社内にあります

TEL03-5846-3504 FAX 03-5846-3514 URL <http://www.kmf.or.jp>

平成 28 年度 第 51 回
「小島三郎記念技術賞」 審査規定

1. 本賞は「小島三郎記念技術賞」と称する。
2. 本賞は、臨床検査ならびに衛生検査領域において優れた検査方法、術式の考案改良を行い、検査技術の普及発展に功績のあった者に贈るものである。
3. 本賞は、特に臨床衛生検査に関与する実務者（技師）であり、また、その領域で功績のある者を対象とする。
4. 本賞の審査は、本財団が委嘱した選考委員がこれを行う。
5. 推薦は、本財団が関係領域の学識経験者に委嘱するのを原則とする。
6. 受賞者は 5 名以内とする。
7. 本賞の審査は毎年 1 回行う。

附則

- (1) 推薦用紙は、本財団ホームページよりダウンロードしてご使用ください。(年度毎に改訂されますのでご注意ください)
- (2) 論文別刷などを同封してください。
- (3) 締切りは平成 28 年 2 月 12 日（金） 必着とします。
- (4) 送付先

(切り取ってご使用ください)

〒110-8408
東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル 7
栄研化学（株）内
公益財団法人 黒住医学研究振興財団御中

本賞の第50回までの受賞者は次の方々です

第1回 1966年(昭41)9月	1. 田村 利勝氏 4. 内藤 晶之助氏	2. 中橋 勇次郎氏 5. 桶谷 英広氏	3. 廣明 竹雄氏
第2回 1967年(昭42)4月	6. 原田 賢治氏 9. 石田 弘氏	7. 佐藤 定吉氏 10. 平識 善保氏	8. 田中 恭生氏
第3回 1968年(昭43)5月	11. 西村 武氏 14. 小林 種一氏	12. 高椋 卯吉氏 15. 二宮 友治氏	13. 石川 徳市氏
第4回 1969年(昭44)5月	16. 井畑 裕次氏 19. 関 又蔵氏	17. 斉藤 磯一郎氏 20. 天鷲 三千三氏	18. 小寺 健一氏
第5回 1970年(昭45)5月	21. 我妻 正三郎氏 24. 斎藤 誠二氏	22. 千葉 宗平氏	23. 笠松 重雄氏
第6回 1971年(昭46)5月	25. 斎藤 菊蔵氏	26. 鈴木 武雄氏	27. 高澤 邦輔氏
第7回 1972年(昭47)5月	28. 東田 一男氏 31. 中村 龍夫氏	29. 小林 芳治郎氏 32. 堀越 晃氏	30. 池田 武夫氏
第8回 1973年(昭48)5月	33. 笠井 藤作氏 36. 斉藤 功氏	34. 笠原 和恵氏 37. 船橋 富次郎氏	35. 加藤 清高氏
第9回 1974年(昭49)5月	38. 岩川 孝憲氏 41. 羽沼 廣光氏	39. 小栗 豊子氏 42. 堀 陽氏	40. 中台 勇氏
第10回 1975年(昭50)5月	43. 岡山 成則氏 46. 山岡 邦夫氏	44. 松永 清輝氏	45. 山井 運次氏
第11回 1976年(昭51)5月	47. 稻生 富三氏 50. 平田 守男氏	48. 笹原 徹氏	49. 佐藤 乙一氏
第12回 1977年(昭52)5月	51. 井上 花枝氏 54. 根本 一蔵氏	52. 佐久 一枝氏	53. 竹内 良三氏
第13回 1978年(昭53)5月	55. 池田 栄雄氏 58. 山岸 紀美江氏	56. 影山 信雄氏	57. 清野 和夫氏
第14回 1979年(昭54)5月	59. 正田 孝明氏 62. 真重 文子氏	60. 中根 清司氏	61. 平沢 太郎氏
第15回 1980年(昭55)5月	63. 五十嵐すみ子氏 66. 深見 トシエ氏	64. 大久保康人氏 67. 藤沢 武吉氏	65. 諏訪 幸次氏
第16回 1981年(昭56)5月	68. 池村 謙吾氏 71. 牧瀬 淳子氏	69. 上野 哲夫氏	70. 清水 一男氏
第17回 1982年(昭57)5月	72. 大場 操児氏 75. 鈴木 節子氏	73. 小林 康夫氏 76. 能勢 義介氏	74. 佐藤 和身氏
第18回 1983年(昭58)5月	77. 相賀 静子氏 80. 中山 年正氏	78. 石井 澄和氏	79. 加藤 勝也氏
第19回 1984年(昭59)5月	81. 前田 宏明氏	82. 中島 公雄氏	
第20回 1985年(昭60)5月	83. 稲垣 勇夫氏 86. 藤田 清貴氏	84. 斎藤 誠氏	85. 芝田 充男氏
第21回 1986年(昭61)5月	87. 小野川 尊氏 90. 森下 芳孝氏	88. 中川原寛一氏	89. 林 幸子氏
第22回 1987年(昭62)5月	91. 高宮 脩氏	92. 吉田 陞氏	
第23回 1988年(昭63)5月	93. 今井 宣子氏 96. 山岸 安子氏	94. 潮田 弘氏 97. 渡辺 信子氏	95. 藤原 ム子氏
第24回 1989年(平1)5月	98. 大竹 順子氏 101. 巴山 顕次氏	99. 金光 房江氏	100. 菅沼 清氏
第25回 1990年(平2)6月	102. 青木 哲雄氏 105. 富田 忠夫氏	103. 石井美岐代氏	104. 加藤 亮二氏
第26回 1991年(平3)5月	106. 大竹 皓子氏 109. 西 國廣氏	107. 設楽 政次氏 110. 森山 隆則氏	108. 田畑 勝好氏
第27回 1992年(平4)5月	111. 安部 彰氏 114. 桑山美知子氏	112. 岩 信造氏 115. 瀬尾たい子氏	113. 奥住 捷子氏 116. 宮原 道明氏

第28回 1993年(平5)6月	117. 石川喜美男氏 120. 西村 要子氏	118. 国香 清氏 121. 伏見 了氏	119. 関口 光夫氏
第29回 1994年(平6)5月	122. 幸喜 敏男氏 125. 村瀬 光春氏	123. 細萱 茂実氏 126. 渡部準之助氏	124. 松田 利夫氏
第30回 1995年(平7)5月	127. 大澤 進氏 130. 小林 忠男氏	128. 大森 勝之氏 131. 矢澤 勝清氏	129. 奥村 伸生氏
第31回 1996年(平8)5月	132. 荒武 八起氏	133. 西野 主真氏	134. 山本 格士氏
第32回 1997年(平9)5月	135. 石田 萌子氏 138. 三澤 成毅氏	136. 稲垣 清剛氏	137. 永尾 暢夫氏
第33回 1998年(平10)5月	139. 鴨志田伸吾氏 142. 船本 康申氏	140. 杉内 博幸氏 143. 松下 秀氏	141. 杉枝 正明氏
第34回 1999年(平11)5月	144. 青野悠久子氏 147. 山崎 謙治氏	145. 大田 喜孝氏	146. 川島 徹氏
第35回 2000年(平12)5月	148. 池本 正生氏 151. 塚田 敏彦氏	149. 川上 由行氏 152. 山本 徳栄氏	150. 田中 建志氏
第36回 2001年(平13)5月	153. 阿南 建一氏 156. 橋本寿美子氏	154. 大久保滋夫氏 157. 山中喜代治氏	155. 千葉 正志氏
第37回 2002年(平14)5月	158. 荒木 延夫氏 161. 戸塚 実氏	159. 小野 一男氏 162. 三宅 康之氏	160. 木下 幸子氏
第38回 2003年(平15)5月	163. 石橋みどり氏 166. 藤本 嗣人氏	164. 近藤 弘氏 167. 油野 友二氏	165. 櫻井 進氏
第39回 2004年(平16)5月	168. 兜森 修氏 171. 山舘 周恒氏	169. 南雲サチ子氏 172. 横田 浩充氏	170. 八柳 潤氏
第40回 2005年(平17)5月	173. 浅利 誠志氏 176. 弓納持 勉氏	174. 栢森 裕三氏	175. 手登根 稔氏
第41回 2006年(平18)5月	177. 柏瀬 貢一氏 180. 羽山 正義氏	178. 國島 伸治氏 181. 本間 桂子氏	179. 常岡 英弘氏
第42回 2007年(平19)5月	182. 梅木 一美氏 185. 田口 真澄氏	183. 大畑 雅彦氏 186. 村本良三氏	184. 片岡 秀夫氏
第43回 2008年(平20)5月	187. 奥宮 敏可氏 190. 永沢 善三氏	188. 亀子 光明氏 191. 日高 宏哉氏	189. 曾根美智子氏 192. 宮西 節子氏
第44回 2009年(平21)5月	193. 大楠 清文氏 196. 小宮 智義氏	194. 岡山 直子氏 197. 野島 順三氏	195. 小松 京子氏
第45回 2010年(平22)5月	198. 小林 昭一氏 201. 松原 朱實氏	199. 宿谷 賢一氏	200. 仲宗根 勇氏
第46回 2011年(平23)5月	202. 岡田 茂治氏 205. 藤原 孝記氏	203. 須貝 幸子氏 206. 山崎 浩和氏	204. 藤田 和博氏
第47回 2012年(平24)5月	207. 池田 聡氏 210. 佐藤 裕久氏	208. 伊瀬 恵子氏 211. 長野 則之氏	209. 岡崎 智治氏
第48回 2013年(平25)5月	212. 池本 敏行氏 215. 二反田隆夫氏	213. 大塚 喜人氏 216. 八木 靖二氏	214. 長田 誠氏
第49回 2014年(平26)5月	217. 上田 一仁氏 220. 松本 智子氏	218. 篠崎 稔氏 221. 李 悦子氏	219. 野崎 司氏
第50回 2015年(平27)6月	222. 鈴木 匡弘氏(愛知県衛生研究所 主任研究員) 223. 清宮 正徳氏(千葉大学医学部附属病院検査部 副臨床検査技師長) 224. 高橋 修氏(市川市リハビリテーション病院臨床検査科 科長) 225. 鶴田 一人氏(長崎大学病院検査部 副技師長) 226. 山下 和也氏(北里大学病院病理部 技師長)		

(一社)岡山県臨床検査技師会会長様

予 算 決 裁 時	理事	担当部長	会計	副会長	会長	決 算 決 裁 時	理事	担当部長	会計	副会長	会長
	藤岡	藤岡	福島	木村	岡本		藤岡	藤岡	植本	木村	岡本

講演会等企画

予算書	提出日: 2015/06/29	決算書	提出日: 2016/01/05
------------	-----------------	------------	-----------------

企 画 分 野	総合管理部門 ()		
講演会等を下記のとおり企画し、提案および報告をいたします。 提案者: 藤岡 克徳			
テ - マ ・ 内 容	平成27年度検査説明・相談の出来る臨床検査技師養成講習会		
日 時	平成27年11月22日(日) 9時00分 ~ 17時30分	平成27年11月23日(月) 9時00分 ~ 16時00分	
会 場	岡山旭東病院 パッチ・アダムス ホール TEL:		
生 涯 教 育 点 数	生涯教育点数 : 基礎 - 30	募集人員 : 50 名	受講料 : 10,000 円
	生涯教育点数 : -	募集人員 : 名	受講料 : 円
司 会	(会員)	(氏名)	(役職名)
	330979	中川 裕美	主任
	330673	藤岡 克徳	課長
共 催	施設名) 倉敷リバーサイド病院 岡山旭東病院		

収支予算案					【参加者数詳細】		
【収入の部】	予算額	決算額	差異	備考・摘要	最終参加 58 人 (うち講師・実務委員 7 人)		
参 加 費	500,000	510,000	10,000		最終参加 人 (うち講師・実務委員 人)		
参 加 協 賛 収 入	0	0	0		【協賛詳細】 (予算なし社) (決算 -- 社)		
雑 収 入	200,000	200,000	0	日臨技助成金		円	円
	50,000	50,000	0	日臨技助成金		円	円
収入小計	750,000	760,000	10,000			円	円
【支出の部】	予算額	決算額	差異	備考・摘要	【講師詳細】 講師 4 名 (予算時講師人数)		
講 師 料	30,000	30,000	0		氏 名	猶本 良夫	会員番号
旅 費					所 属	川崎医科大学附属川崎病院	
講 師 支 払 額	30,000	30,000	0		肩 書 き	副院長	
講 師 謝 金	33,411	33,411	0		備 考		
講 師 料	30,000	30,000	0		氏 名	前川 珠木	会員番号
旅 費					所 属	岡山大学病院	
講 師 支 払 額	30,000	30,000	0		肩 書 き	看護部長	
講 師 謝 金	33,411	33,411	0		備 考		
講 師 料	30,000	30,000	0		氏 名	安藤 美華代	会員番号
旅 費					所 属	岡山大学大学院教育学研究科	
講 師 支 払 額	30,000	30,000	0		肩 書 き	心理・臨床学系 教育臨床心理学講座 教授	
講 師 謝 金	33,411	33,411	0		備 考		
講 師 料	60,000	60,000	0		氏 名	古垣 みゆき	会員番号
旅 費					所 属	人材開発マネジメント株式会社	
講 師 支 払 額	60,000	60,000	0		肩 書 き	常務取締役	
講 師 謝 金	64,800	64,800	0		備 考		
会 場 費		0	0		【運営費等詳細】 (会員交通費は'様式07 出張報告書'を提出)		
旅 費 日 当		127,164			宮島会長: 交通費35,000円、宿泊費10,454円		
通 信 費	30,000	18,820	11,180	切手代	油野先生: 宿泊費7,500円、講師交通費(タクシー代)31,950円		
消 耗 品 ・ 雑 費	50,000	47,317	2,683		実務委員: @1500円 x のべ16名 = 24,000円、交通費18,260円		
運 営 費	80,000	193,301	113,301		消耗品内訳: ネームプレート 5,872円		
雑 費	342,368	194,908	147,460		修了証書 37,649円		
2 日 目 講 師 料	162,599	162,599			ビデオ撮影用SDカード 2,880円		
支 出 小 計	750,000	715,841	34,159		講師用水 916円		
収 支 差 額	0	44,159			【雑費他詳細】		
					テキスト印刷45部: 182,848円; 印刷用紙23,488円; ファイル18,360円 (カラー@40円 x 55P+白黒@10円 x 15P) x 60 = 141,000円 事前会議費用(3回分): 12,060円		

(一社)岡山県臨床検査技師会会長様

予 算 決 裁 時	理事	担当部長	会計	副会長	会長	決 算 決 裁 時	理事	担当部長	会計	副会長	会長
	藤岡	藤岡	福島	木村	岡本		藤岡	藤岡	植本	木村	岡本

講演会等企画

予算書	提出日: 2015/06/29	決算書	提出日: 2016/01/05
------------	-----------------	------------	-----------------

企 画 分 野	総合管理部門 ()		
講演会等を下記のとおり企画し、提案および報告をいたします。 提案者: 藤岡 克徳			
テ - マ ・ 内 容	平成27年度検査説明・相談の出来る臨床検査技師養成講習会		
日 時	平成27年11月22日(日) 9時00分 ~ 17時30分	平成27年11月23日(月) 9時00分 ~ 16時00分	
会 場	岡山旭東病院 パッチ・アダムス ホール TEL:		
生 涯 教 育 点 数	生涯教育点数 : 基礎 - 30	募集人員 : 50 名	受講料 : 10,000 円
	生涯教育点数 : -	募集人員 : 名	受講料 : 円
司 会	(会員)	(氏名)	(役職名)
	330979	中川 裕美	主任
	330673	藤岡 克徳	課長
共 催	施設名) 倉敷リバーサイド病院 岡山旭東病院		

収支予算案					【参加者数詳細】		
【収入の部】	予算額	決算額	差異	備考・摘要	最終参加 58 人 (うち講師・実務委員 7 人)		
参加費	500,000	510,000	10,000		最終参加 人 (うち講師・実務委員 人)		
参加協賛収入	0	0	0		【協賛詳細】 (予算なし社) (決算 -- 社)		
雑収入	200,000	200,000	0	日臨技助成金		円	円
	50,000	50,000	0	日臨技助成金		円	円
収入小計	750,000	760,000	10,000			円	円
【支出の部】	予算額	決算額	差異	備考・摘要	【講師詳細】 講師 4 名 (予算時講師人数)		
講師料	45,000	45,000	0		氏名	末盛 晋一郎	会員番号
旅費					所属	川崎医科大学 検査診断学	
講師支払額	45,000	45,000	0		肩書き	講師	
講師謝金	50,116	50,116	0		備考		
講師料	45,000	45,000	0		氏名	花山 宜久	会員番号
旅費					所属	岡山大学病院 総合診療内科	
講師支払額	45,000	45,000	0		肩書き	助教	
講師謝金	50,116	50,116	0		備考		
講師料	10,000	10,000	0		氏名	荒谷 千登美	会員番号 340254
旅費	12,000	12,000	0		所属	国家公務員共済組合連合会 呉共済病院	
講師支払額	22,000	22,000	0		肩書き	検査部輸血課主任	
講師謝金	24,501	24,501	0		備考		
講師料	10,000	10,000	0		氏名	油野 友二	会員番号 170306
旅費	24,000	24,000	0		所属	北陸大学	
講師支払額	34,000	34,000	0		肩書き	教授	
講師謝金	37,866	37,866	0		備考		
会場費		0	0		【運営費等詳細】 (会員交通費は'様式07 出張報告書'を提出)		
旅費日当		127,164			宮島会長: 交通費35,000円、宿泊費10,454円		
通信費	30,000	18,820	11,180	切手代	油野先生: 宿泊費7,500円、講師交通費(タクシー代)31,950円		
消耗品・雑費	50,000	47,317	2,683		実務委員: @1500円 x のべ16名 = 24,000円、交通費18,260円		
運営費	80,000	193,301	113,301		消耗品内訳: ネームプレート 5,872円		
雑費	342,368	194,908	147,460		修了証書 37,649円		
1日目講師料	165,033	165,033			ビデオ撮影用SDカード 2,880円		
支出小計	750,000	715,841	34,159		講師用水 916円		
収支差額	0	44,159			【雑費他詳細】		
					テキスト印刷45部: 182,848円: 印刷用紙23,488円、ファイル18,360円 (カラー@40円 x 55P+白黒@10円 x 15P) x 60 = 141,000円 事前会議費用(3回分): 12,060円		

**平成 27 年度 日臨技、都道府県技師会主催
「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」**

技 師 会： 一般社団法人 岡山県臨床検査技師会

報 告 者： 藤岡 克徳

開 催 日： 平成 27 年 11 月 22 日 (日) ~ 11 月 23 日 (月)

決 算 書

A (収 入)

科 目	金 額 (円)	内 訳 ・ 備 考
日臨技助成 固定額	200,000 円	同一年度内開催回数に係わらず 1 回のみ算定
日臨技助成 受講者あたり	50,000 円	受講者数 50 名@1,000 円
受 講 料 収 入	500,000 円	受講者数 50 名@10,000 円
合 計	750,000 円	

B (支 出)

科 目	金 額 (円)	内 訳 ・ 備 考
会 場 費	0 円	
設 備 ・ 備 品 費	0 円	
印 刷 費	182,848 円	テキスト印刷 60 部、印刷用紙、ファイル 白黒@10 円×15 ページ、カラー@40 円×55 ページ
人 件 費 (講 師 謝 金)	287,539 円	技師 90 分まで@11,137 円×2 名 源泉込 技師以外 90 分まで@33,411 円×3 名 源泉込 技師以外 90 分超過@50,116 円×2 名 源泉込 企業 1 @ 64,800 円× 1 社 企業 2 @ 円× 社
旅 費 ・ 宿 泊 費	143,257 円	講師関係 124,997 円 税込 その他 18,260 円 税込
会 議 費	12,060 円	3 回開催 (11 月 12 日、11 月 19 日、11 月 21 日)
通 信 運 搬 費	18,820 円	切手代
消 耗 品 費	46,401 円	ネームプレート、受講終了証、記録用 SD カード
広 報 費	0 円	
担 当 者 活 動 費	24,000 円	@1,500 円×のべ 16 名 (2 日間)
雑 費	916 円	講師水代
合 計	715,841 円	

A - B (収 支)

差し引き	34,159 円	理由と処理方法： 来年度開催の担保として内部留保
------	----------	-----------------------------

事業終了 2 週間以内に、日臨技事務局、都道府県技師会事務局へ提出

**平成 27 年度 日臨技、都道府県技師会主催
「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会」**

報告書

「事後アンケート」の集計結果も添付

報告者	藤岡 克徳	電話番号	086-276-7726 (内 6665)
開催運営	(岡山県) 技師会		
技師会会長名	岡本 由美		
開催日時	平成 27 年 11 月 22 日 (日) 9 : 00 ~ 平成 27 年 11 月 23 日 16 : 00		
開催場所	一般財団法人操風会 岡山旭東病院 パッチ・アダムスホール 〒703-8265 岡山市中区倉田 567-1		
後援団体名	(公社) 岡山県医師会、(一社) 岡山県病院協会、(公社) 岡山県看護協会		
受講者数	50 名		
実務委員	氏名・所属	岡本由美 (松田病院) 藤岡克徳 (岡山旭東病院) 中川裕美 (倉敷リバーサイド病院) 森本信太郎 (岡山旭東病院) 板倉智恵 (岡山旭東病院) 鈴木絵理 (岡山旭東病院) 平松弥生 (岡山旭東病院) 加賀山久明 (岡山旭東病院) 石村季美香 (岡山旭東病院) 佐々木啓太 (岡山旭東病院) 木浦大典 (岡山旭東病院) 荻原宏俊 (岡山旭東病院) 寺阪賢人 (岡山旭東病院) 計 13 名 (1 日目 : 7 名、2 日目 : 9 名)	
	概要	昨年同様、募集開始と同時に定員となった。宮島会長の講義に始まり、実際に説明を実施している施設紹介や、ロールプレイを交えた座学ではない講義内容に受講者の評価も高いものであった。特に、2 日目の検査説明の実際では、講師の先生を相手に検査説明を行い、すぐに評価をしていただいたことで、受講者も実際の検査説明・相談業務へのイメージが湧いたように思われた。	
	成果	昨年と今年を合わせて 95 名の受講者となり、目標にむかい順調に進捗している。アンケートでも「できそう」が 38%、「わからない」が 62% に対し「できない」は 0% となっており、各自諸問題は抱えるも説明業務に取り組むきっかけとなったと考えれば十分な成果があったと考える。	
	次年度開催に向けて	(反省・改善・要望) 今回、ビデオ放映を一切しなかったことはよい評価につながったように思われた。ただし、R-CPC において昨年よりも若干評価が下がったので、講義内容等検討する必要があると考える。	

アンケート集計報告

記入は網掛け部のみ

講習会開催日
2015年11月22日
アンケート集計提出日
2016年1月5日
ご提出都道府県名
岡山県

受講者数
50
ご提出担当者名
藤岡 克徳

アンケート未提出者数
0
アンケート回収数
50

質問	よかった	よくなかった	どちらでもない	記入なし	よかった	よくなかった	記入なし	合計
1 講習を受けてどうでしたか？	50	0	0	0	0	0	0	50
2 受講料はどうでしたか？	妥当	高い	安い	記入なし	記入なし	記入なし	記入なし	50
3 ビデオ講義形式はどうでしたか？	よかったです	よくなかった	わからない	記入なし	記入なし	記入なし	記入なし	50
4 ロールプレイ体験はどうでしたか？	よかったです	よくなかった	わからない	記入なし	記入なし	記入なし	記入なし	50
5 講義内容別の評価を5段階でお願いします	とてもよかったです	よかったです	普通だった	ものたりなかった	よくなかった	記入なし	記入なし	合計
取り組む意義	31	19	0	0	0	0	0	50
期待するもの	29	18	3	0	0	0	0	50
看護師の患者接遇	20	21	9	0	0	0	0	50
実践から学ぶ	29	21	0	0	0	0	0	50
患者心理	35	14	1	0	0	0	0	50
接遇の基本	39	10	1	0	0	0	0	50
検査説明の実際	37	12	1	0	0	0	0	50
R-CPC	19	29	2	0	0	0	0	50
検査説明模擬演習	37	12	0	0	0	1	0	50
								0
								0
								0
6 講習会の感想、意見、要望	<input type="checkbox"/> 2日間ですが有意義なことが盛りだくさんの講習会だと思いました。午後に実習の方が良かったと順番や時間配分をも少し考慮して貰けるとよかったですと思いました。 <input type="checkbox"/> 実際の患者様への声掛けの方法を教えてくださいました。表情や声のトーンなど普段の業務でも実施してみようと思います。 <input type="checkbox"/> 検査説明をするために患者さんとのコミュニケーションのみが必要だと始めは考えていた。しかし、チーム医療で行っている範囲も重要になってきていることに気が付いた。 <input type="checkbox"/> 今回、この講習会に参加し、検査技師が求められるもの、やらなければならないことが良くわかりました。自信がない、不安である、などの気持ちはさて置き、自分の意識を変えて一歩ずつ進んでいきたいと思います。 <input type="checkbox"/> 全体的によかった。病院が会場を出してくれやすい案内文や請求書はよかったです。 <input type="checkbox"/> 臨床検査技師として医療現場で活躍する一つに検査説明は必要と思う。そのノウハウが体験出来て良かったと思う。この資料を使って臨床と相談しながら前向きに実現できたら良いと思う。 <input type="checkbox"/> 最初、検査説明というものが、どの様なことを必要とされるのかわからず、戸惑っていました。講義を聞いていくうちに、この程度まで言うてよいことがわかり、来てよかったです。 <input type="checkbox"/> 検査説明について自分に足りない部分が見えました。今後の教師としての展望も見えました。少しずつでも準備が出来るよう皆で協力していきたいと思っています。							
7 今後検査説明相談ができそうですか？	できそう	できない	まだわからない	記入なし				合計
	19	0	31	0				50
8 検査説明しうる分野(いくつでも可)	糖尿病外来	SMBG	健診全般	生理全般	検査の多い診療科の患者へ	検査の少ない診療科の患者へ		合計
	15	11	28	13	9	3		79
9 検査説明のための課題は？	(自動計算:構成比) <input type="checkbox"/> 院内でのチーム医療として、どこまでできるか。診断と説明の線引き、臨床で何を求められるかなど、他の職種との話し合いが必要だと思います。 <input type="checkbox"/> 色々な患者様 設定があるので経験をかみ取り難くないと実際の検査説明は難しい。模擬ではなく、本当に実施されている施設での研修も必要だと思います。 <input type="checkbox"/> チームプレイの課題でもありますが、どこまで説明すれば良いか、はっきりすれば説明しやすいいと思います。特に生理検査は説明しにくいと思います。 <input type="checkbox"/> 誤解をされないような言葉の選択に注意が必要。接遇面も含めて若年スタッフへの教育は重要と感じました。 <input type="checkbox"/> 生理検査業務を日々行っている中で採血ブローグに関しては検査項目程度しか読めません。説明と比べるとかなり勉強しないと出来ないという点が課題です。 <input type="checkbox"/> やはり「説明」と「診断」の境界が難しい。患者はほとんど振り下ろして質問してくることが多いので、その対応に苦慮すると思われ。 <input type="checkbox"/> 院内で医師からどのように受け止められるか、診断と練習を患者さんに満足してもらえ説明が出来るかどうか、など心配な部分もあります。 <input type="checkbox"/> 自信を持って賢者に説明できるほどの知識がまだない。接遇などでも練習を重ねることが必要である。							
	19%	14%	35%	16%	11%	4%		100%

実際のカリキュラムが異なる場合はアンケートを行った講義名に赤字部分を修正してください。

代表的な内容をピックアップください。

講習会の感想、意見、要望

- ㊦ 2日間ですが有意義なことが盛りだくさんの講習会だと思いました。午後に実習の方が良かったと順番や時間配分をもう少し考慮して頂けるとよかったですと思いました。
- ㊦ 実際の患者様への声掛けの方法を教えていただきとても参考になりました。表情や声のトーンなど普段の業務でも実施してみようと思います。
- ㊦ 実際にロールプレイで検査説明を行うことで、説明する際に気を付けなければならないことが見つかって良かった。
- ㊦ ロールプレイ体験をさせて頂いて良かったです。接遇や患者心理も勉強させて頂き、大変有意義でした。ありがとうございました。
- ㊦ 検査説明をするために患者さんとのコミュニケーションのみが必要だと始めは考えていた。しかし、チーム医療で行っていくので説明する範囲も重要になっていることに気が付いた。
- ㊦ 検査技師として正しいデータを出すだけでなく、検体の採取から報告と説明まで責任を持たなければ、そのために結果の項目についてもっと学習したり機器の管理までしっかりと行わなければと痛感しました。接遇についても今まで自分ではOKと思っていた言葉が人によっては不快にとられているという事実を知り、驚き反省しました。今後に生かしていきたいです。
- ㊦ 他の施設の技師さんと一緒に考えることが新鮮だった。また、医師・看護師の立場もよくわかった。
- ㊦ 1つのセッションが少し長い気がした。
- ㊦ 思った以上に内容が多かった。検査説明の実際で患者と技師の実際のロールプレイはとても勉強になったが、逆に考えさせられることも多かった。
- ㊦ 全て内容の深いものであった。今後の検査説明で役に立つと思われます。開催日程ですが、できれば祝日は避けてほしいです。(例えば土・日とか・・・)
- ㊦ ロールプレイがあることでより身近に講習会を受けることが出来た。様々な職種の方からも話を伺うことができ有意義であった。
- ㊦ ロールプレイなど実際に体験することで、説明する事の難しさを実感できた講習会でした。チーム医療について考えさせられました。自分の知識の低さを感じました。昼食が出れば有難い。連休はちょっときびしい。
- ㊦ とても勉強になり、内容も充実していた。やはり説明に際してどこまでの内容を話すか、その判断がとても難しい。求められているもの、私たちにできることのバランスが大切だと思った。今回、この講習会に参加し、検査技師が求められているもの、やらなければならないことが良くわかりました。自信がない、不安である、などの気持ちはさて置き、自分の意識を変えて一歩ずつ進んでいかなくてはいけないのだと気付かされました。2日間ありがとうございました。
- ㊦ 接遇の講義では日常生活でも活用できることだと思いました。

- z 検査技師が周りからどう見られ、どう求められているのかがよくわかった。新しいことを始めるのは難しいが、まずは自分が勉強しようと思った。
- z 最初、検査説明というものが、どの様なことを必要とされているのかわからず、戸惑っていましたが。講義を聞いていくうちに、この程度まで言ってよいことがわかり、来てよかったと思います。
- z 実際にロールプレイを試してみたのは勉強になりました。内容はデータを見ていえることだけと分かりハードルが下がったように思います。
- z 全体的によかった。病院が会費を出してくれやすい案内文や請求書はよかった。検査説明模擬演習のプリントが最後に回収されたが、突然だったので自分の大切なメモもすべて回収されて残念でした。
- z 実際に演習をする時間があり良かった。現在、実際に行っている中で長所短所困る事など、たくさんの施設でのケースを聞いてみたかった。
- z 検査説明について自分に足りない部分が見えました。今後の技師としての展望も見えました。少しずつでも準備が出来るよう皆で協力していきたいと思います。
- z 各検査項目に対してどういう言いまわしが良いかなど、ある程度まとまった例がもらえると参考になると思った。自分の知識のなさがわかった。
- z 模擬演習があり、とてもよかった。
- z 大変勉強になりました。今後の業務に活かして行きたい。講習内容が重複するところが何カ所かあったのもう少し内容が違ったものでもよかったのかもしれない。
- z 分かりやすい講演をありがとうございました。
- z 今後、検査技師としてどう取り組めばよいのかが見えてきました。生理検査について、もう少し説明・相談について教えていただきたいです。
- z 良かった。R-CPC が参加者と一体になるようにしてもらいたい。
- z 2日間内容の濃い研修で患者心理や技師の求められる立場など勉強になりました。身近なところから患者様の満足度を上げられるよう取り組んでいきたいと考えさせられました。
- z 検査についてまだまだ知識不足であると感じました。また、説明の仕方についても人によっていろいろととり方が違い、難しいですが今回色々な面で勉強になりました。
- z 内容濃くとても有意義な講習会でした。検査説明の場面に関しては病院により違ってくるので、どのように取り組めば良いのか、内容の線引きなど改めて学べる場を要望します。
- z 特になし。
- z 臨床検査技師として医療現場で活躍する一つに検査説明は必要と思う。そのノウハウが体験出来て良かったと思う。この資料を使って臨床と相談しながら前向きに実現できたら良いと思う。
- z お昼のお弁当を出してほしかった。3連休でないところでしたほうが良いと思う。

- z 内容は分かりやすく良かったです。短くてよいので、こまめに休憩があるとありがたいなと感じました。普段立ちっぱなしの仕事なので...
- z どの講義もとても勉強になりました。同時に自分の知識不足も感じました。人に説明できてこそ身についているといえるので頑張らなくてはと思いました。
- z 分かりやすくロールプレイなど楽しく学習できたと思います。R-CPC よかったです、症例が少し難しかったです。
- z 医師にもいろいろな先生がいるので、検査説明をどこまで希望しているか、してもいいのかももう少し知りたい。検査は血液データだけでなく生理検査についてもあったよかったです。
- z とても勉強になりました。R-CPC で検査についてとても詳しく教えて頂き、医師の方にもこんな方がいるのだと感動しました。
- z 参加者はみんな自施設で、いろいろな形態で仕事をしていると思う。私のように週替わりでローテーションで各部署をまわっていれば患者と接することも多いが、固定の仕事だと全く関わらない方もおられると思うので、ロールプレイングはとても役に立ったと思う。
- z 検査技師は患者の心理や接遇についてじっくりと学ぶ機会があまりないので、とても貴重な経験でした。検査説明の体制づくりや他の準備など院内ですべき課題が認識できました。内容はとても充実していてよかったです。ハードスケジュールで、もう少し時間に余裕が欲しかったです。
- z 検査技師がチーム医療として「検査説明・相談」を目指していく必要性、意義の理解が出来ました。「検査説明・相談」をどのように患者に説明するのがよいのか実践が出来、大変有意義でした。検査技師としてしっかり勉強する必要も感じました。
- z 検査説明・相談というものが漠然としていたが具体的にわかって良かった。
- z 特になし。
- z いろいろと教えていただき大変勉強になりました。病院のシステム上、活躍できるか否かはわかりませんが、個人的にはがんばれます。
- z 全体的にとっても有意義な内容だったと思います。説明内容をどこまでという線引きが難しいと感じました。
- z 自らの力量不足により実戦については自らの習得が不十分と感じました。更に経験を積む意識で職場に戻ります。
- z 説明するための言葉を選ばないといけないなぁと思いました。慣れるまでは難しいと感じました。
- z 指導と検査説明の違いがよく分かった。模擬演習で先生の指摘が分かりやすかった。どの講義も素晴らしかったので大変勉強になりました。
- z ロールプレイは貴重な体験だったが、いろいろな症例や場面があるので、日々やっていく施設でないとなかなか難しい。

- ㊦ いろいろな内容のものを講義して下さって大変良かったです。検査説明の実践(実習)もあり、実感することが出来て良かったと思います。
- ㊦ 接遇の大切さ、チーム医療の大切さ、検査データなどの重要性を痛感させられた。日々勉強していかなばと思う。R-CPCは難しい。
- ㊦ 他施設の取組みや生の意見が聞けたことはすごく刺激となり勉強になった。

検査説明のための課題は？

- ㊦ 院内でのチーム医療として、どこまでできるか。診断と説明の線引き、臨床で何を求められるかなど、他の職種との話し合いが必要だと思います。
- ㊦ 検査課での統一や医師・看護師などへの案内など当院ではまだまだ多くの課題がありそうです。
- ㊦ 検査説明をどのような範囲で行っていくかなど病院内での連携が必要だと思った。
- ㊦ 色々な患者様、設定があるので経験をかなり積まないと実際の検査説明は難しい。模擬ではなく、本当に実施されている施設での研修も必要だと思いました。
- ㊦ 専門職間での話し合いが出来ていることが必要だと思った。
- ㊦ 検査の説明について医師と相談してマニュアルを作成し同じような説明を行えるようにする。そのために検査室内で学習会などを開き共通の認識を持てるようにするなどが課題だと思われます。
- ㊦ 医師との連携が必要だと思います。(触れない方がよい内容について等)
- ㊦ まず、ジェネラリストの育成を感じました。
- ㊦ もっと全体的に勉強しないと説明はなかなか難しいと思った。
- ㊦ 各検査項目の臨床的意義を再確認する必要がある。
- ㊦ 自信を持って賢者に説明できるほどの知識がまだない。接遇などでも練習を重ねることが必要である。
- ㊦ データに関する知識を得ること。検査結果を見て次にどのように進めてよいかなど勉強しなくてはならないことは多い。また、説明と診断との線引きが難しい。
- ㊦ チーム医療の中で力を発揮するために他部門の方(特に医師、看護師)との連携。
- ㊦ データを読むこと、医師とのコミュニケーション、実際に体験をして慣れていくことだと思います。
- ㊦ 病院の考え。いくら検査室から発信しても病院がいらないと言えばそれで何もできないから。
- ㊦ チームプレイの課題でもありますが、どこまで説明すれば良いか、はっきりすれば説明しやすいと思います。特に生理検査は説明しにくいかと思います。
- ㊦ 院内で医師からどのように受け止められるか、診断と線引きして患者さんに満足してもらえる説明が出来るかどうか、など心配な部分もあります。
- ㊦ 医師とのコミュニケーションのとり方がわからない(忙しいので医師は不機嫌なことが多い) 説明のためのスペースの確保、技師の時間の確保が難しい。説明に診療点数

が付けばスペースや人材を病院が配慮してくれるのですが…。

- ㊦ 検査の説明と診断との線引きが難しい。
- ㊦ 誤解をされないような言葉の選択に注意が必要。接遇面も含めて若年スタッフへの教育は重要と感じました。
- ㊦ どこまで患者に言っても良いのかがあいまいで、はじめはトラブルがありそう。マニュアル化しにくく経験が必要で、どれくらいで説明してもよいか判断難しい。
- ㊦ 人員の問題（いまのにんずうでは時間が取れない）
- ㊦ 患者の心理を理解することと、柔軟な対応がとれるかどうか。
- ㊦ 検査についての知識を深めること。
- ㊦ 当院では検体検査は外部ラボが入っているので、そのあたりの兼ね合いが難しいと思います。
- ㊦ 特になし。
- ㊦ 診療現場とのコミュニケーション、医師の理解。知識が足りない所を日々意識して経験を積んでいく必要があると思います。
- ㊦ 病気についていろいろと知っていかなければならないと思いました。
- ㊦ 自分の立場の再確認。知識の習得。
- ㊦ 人員不足のため、検査説明にまで人を回せない環境がある。
- ㊦ マニュアル作り。
- ㊦ 勉強不足だと・・・
- ㊦ まだまだ知識が足りないので勉強が必要だと感じました。
- ㊦ どこまで伝えても良いのか、説明と診断の境は難しく思います。主治医に確認を取るには先生は忙しく気難しいです。
- ㊦ 患者様の分かりやすい言葉でゆっくり話す。同じ目線に立って・・・
- ㊦ 人員不足。
- ㊦ 術前の検査結果をきちんと患者さんへ伝える構築を取りたい（外科系の患者さん）
- ㊦ やはり「説明」と「診断」の境界が難しい。患者はどんどん掘り下げて質問してくることが多いので、その対応に苦慮すると思われる。
- ㊦ 生理検査業務を日々行っているので採血データに関しては検診項目程度しか読めません。説明となると、かなり勉強しないと出来ないという点が課題です。
- ㊦ 説明者が依頼時に対応出来るような検査室のシステム作りが必要である。説明できる技師の育成方法も課題です。
- ㊦ 医師、施設によっても考え方が違うので、どこまで踏み込んでいいか難しい。
- ㊦ 患者様の立場で分かりやすく理解してもらうのが重要と思われるため多種にわたる、幅広い知識が重要と思われました。
- ㊦ 自己知識を充分にしておかないと、きちんとした説明は難しいと改めて感じています。要求されるのは自己研鑽と思いました。

- ゝ 知識の蓄積とコミュニケーション。
- ゝ 何よりも経験。そのためには意識したデータの評価に取り組むこと。
- ゝ 様々な症例を経験し、日々勉強する必要があると感じました。
- ゝ 特殊な検査項目も何の検査か大まかに理解しておく。
- ゝ 経験を積む。院内カンファレンスが行える環境が出来ること。医師側の理解。施設側に理解。人員。
- ゝ 検査データからのいろいろな病態について、もっと勉強が必要だと思いました。
- ゝ 相手に合わず（心理状態を含め、知識、病態など）表情など体からにじみ出るものなので慎重に行わなければならない。
- ゝ 医師との連携の難しさ。診療部門と健診での取り組む姿勢。他コメディカルとの住み分けと協力。

(単位:円)

科目	28年度予算額	27年度予算額	増減	総務	学術	渉外	備考
一般正味財産増減の部							
1 経常増減の部							
(1) 受取入金	162,000	162,000	0	162,000			
正会員入金収益	150,000	140,000	10,000	150,000			75*2,000
個人賛助会員入金収益	2,000	2,000	0	2,000			1*2,000
法人賛助会員入金収益	10,000	20,000	10,000	10,000			1*10,000
(2) 受取会費	7,755,000	7,505,000	250,000	7,755,000			
正会員会費収益	6,750,000	6,600,000	150,000	6,750,000			1,350*5,000
個人賛助会員会費収益	5,000	5,000	0	5,000			1*5,000
法人賛助会員会費収益	1,000,000	900,000	100,000	1,000,000			50*20,000
(3) 事業収益	3,000,000	3,081,000	81,000		3,000,000		
講習会事業収益	1,489,000	1,390,000	99,000		1,489,000		
講習会参加費収益	1,474,000	1,375,000	99,000		1,474,000		中四国研修会(一般)含
講習会協賛金収益	15,000	15,000	0		15,000		
生涯教育研修事業収益	1,000	1,000	0		1,000		
展示広告事業収益	810,000	810,000	0		810,000		
広告費収益	490,000	490,000	0		490,000		
学会展示・セミナー費収益	320,000	320,000	0		320,000		
精度管理事業収益	700,000	880,000	180,000		700,000		
(4) 受取補助金等	1,040,000	1,600,000	560,000	200,000	840,000	0	
地方公共団体補助金収益	0	0	0	0	0		
日臨技助成金収益	1,040,000	1,600,000	560,000	200,000	840,000		講習会助成金、新人研修
その他補助金収益	0	0	0	0	0		
(5) 雑収益	60,000	112,000	52,000	60,000			
受取利息収益	10,000	10,000	0	10,000			
その他雑収益	50,000	102,000	52,000	50,000			
経常収益計	12,017,000	12,460,000	443,000	8,177,000	3,840,000	0	
2 経常費用							
(1) 事業費	8,372,000	7,323,000	1,049,000	2,445,000	4,500,000	1,427,000	
臨時雇用賃金	0	0	0				
福利厚生費	861,000	561,000	300,000	700,000		161,000	ソフトボール大会、新人研修等
旅費交通費	786,000	562,000	224,000	450,000	155,000	181,000	
県内旅費交通費	606,000	432,000	174,000	350,000	75,000	181,000	ソフト、スポレク、検査展等
県外旅費交通費	180,000	130,000	50,000	100,000	80,000	0	
通信運搬費	25,000	105,000	80,000	25,000			
電話料	5,000	5,000	0	5,000			
切手類等	20,000	100,000	80,000	20,000			
接待交際費	30,000	30,000	0	30,000			
総会会場費	50,000	30,000	20,000	50,000			
学会負担費	55,000	160,000	105,000		55,000		
生涯教育研修事業費	1,715,000	1,410,000	305,000	340,000	1,375,000	0	
講師謝金	1,185,000	1,010,000	175,000	40,000	1,145,000	0	新人研修会
研修会場費	105,000	100,000	5,000		105,000		
研修会運営費	425,000	300,000	125,000	300,000	125,000		検査説明
組織調査費	0	0	0				
精度管理開催費	765,000	765,000	0		765,000	0	
精度管理費	605,000	605,000	0		605,000		
精度管理研究費	150,000	150,000	0		150,000		
事業協力費	10,000	10,000	0		10,000		
印刷製本費	2,050,000	2,050,000	0		2,050,000		
臨床検査展等会場費	1,085,000	1,200,000	115,000		0	1,085,000	ソフト、検査展等
表彰費	250,000	250,000	0	250,000			永年会員等
雑費	700,000	200,000	500,000	600,000	100,000		OT33ラボセミナー
(2) 管理費	7,844,000	7,907,000	63,000	7,490,000	214,000	140,000	
給料手当	1,300,000	2,400,000	#####	1,300,000			事務所人件費+クリスマス
会議費	859,000	806,000	53,000	505,000	214,000	140,000	
理事会費	300,000	250,000	50,000	300,000			毎月開催
総務部委員会費	150,000	180,000	30,000	150,000			
学術部委員会費	214,000	221,000	7,000		214,000		
渉外部委員会費	140,000	140,000	0			140,000	
選挙管理委員会費	5,000	5,000	0	5,000			
諮問委員会費	50,000	10,000	40,000	50,000			記念誌、青年
旅費交通費	300,000	300,000	0	300,000	0	0	
県内旅費交通費	100,000	100,000	0	100,000			
県外旅費交通費	200,000	200,000	0	200,000			
通信運搬費	950,000	950,000	0	950,000	0	0	
電話料	350,000	350,000	0	350,000			
切手類等	600,000	600,000	0	600,000			
消耗什器備品費	0	0	0	0			リッグラリース代等
消耗品費	1,200,000	1,200,000	0	1,200,000			
修繕費	50,000	50,000	0	50,000			
印刷製本費	200,000	200,000	0	200,000			

光熱水料費	80,000	70,000	10,000	80,000			
資料購入費	5,000	5,000	0	5,000			
事務所維持管理費	700,000	600,000	100,000	700,000			
災害保険料	100,000	100,000	0	100,000			
諸謝金	400,000	400,000	0	400,000			
租税公課	170,000	150,000	20,000	170,000			
負担金	0	0	0	0			
中国技師会分担金	0	0	0				
中四国技師会分担金	0	0	0				
関係諸団体費	100,000	120,000	20,000	100,000			
慶弔費	30,000	30,000	0	30,000			
減価償却費	400,000	400,000	0	400,000			減価償却費
雑費	1,000,000	126,000	874,000	1,000,000			HPリニューアル費用含む
経常費用計	16,216,000	15,230,000	986,000	9,935,000	4,714,000	1,567,000	
当期経常増減額	4,199,000	2,770,000	#####	1,758,000	874,000	1,567,000	
1 経常外増減の部							
1 経常外収益							
(1) 基本財産取崩収入	0	0	0				
(2) 特定資産取崩収入	250,000	250,000	0	250,000			
学術奨励引当資産取崩収入	250,000	250,000	0	250,000			表彰代
中四学会引当資産取崩収入	0	0	0				
(3) 固定資産売却収入	0	0	0				
経常外収益計	250,000	250,000	0	250,000			
2 経常外費用							
(1) 基本財産取得支出	0	0	0				
(2) 特定資産支出	400,000	400,000	0	400,000			
減価償却引当資産支出	400,000	400,000	0	400,000			減価償却
(3) 固定資産取得支出	0	0	0				
経常外費用計	400,000	400,000	0	400,000			
当期経常外増減額	150,000	150,000	0	150,000			
当期一般正味財産増減額		0	0				
前期繰越収支差額	0	0	0				
次期繰越収支差額			0				

一般社団法人 岡山県臨床検査技師会

平成 2 7 年度

臨時總會議案書

目次

總會通知	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
總會次第	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
第 1 号議案	役員改選・・・・・・・・	2
事業報告	平成 2 8 年度事業計画案	3
事業報告	平成 2 8 年度収支予算案	6

平成 28 年 2 月 1 日

会 員 各 位

一般社団法人 岡山県臨床検査技師会
会 長 岡 本 由 美

平成 27 年度 臨時總會開催通知

定款 16 条 3 項の規定により，平成 27 年度臨時總會を下記の要領で開催しますので，
会員各位の出席を要請いたします。

記

日 時：平成 28 年 3 月 6 日(日) 11 時 00 分～12 時 00 分
場 所：川崎医療短期大学 200 番大講義室 倉敷市松島 316 番地

臨 時 總 会 次 第

- 一．司 会 者 挨 拶
- 一．開 会 の 辞
- 一．会 長 挨 拶
- 一．来 賓 挨 拶
- 一．議 長 選 出
- 一．議 長 挨 拶
- 一．總 会 役 員 選 出
 - (1) 資 格 審 査 委 員 ・ 議 事 運 営 委 員 任 命
 - (2) 書 記 任 命
 - (3) 議 事 録 署 名 人 選 任
- 一．議 案 審 議
 - (1) 第 1 号 議 案 役 員 改 選
- 一．事 業 報 告
 - (1) 平 成 28 年 度 事 業 計 画
 - (2) 平 成 28 年 度 収 支 予 算
- 一．總 会 役 員 解 任
- 一．議 長 挨 拶
- 一．閉 会 の 辞

【第1号議案】

定款第26条及び組織運営規程第5条～12条による役員改選を提案する。

平成28・29年度岡山県臨床検査技師会

理事及び監事立候補者一覧

届け出順

施設名	理事立候補者名	施設名	理事立候補者名
		施設名	監事立候補者名

【事業報告】

平成 28 年度事業計画

【平成 28 年度事業方針について】

日臨技の業務拡大・後進育成事業に則しながら、岡臨技として特徴をもった活動をしていきたい。

昨年 4 月より施行された「検体採取資格」は国家資格免許の追記であることを認識してもらい、全ての会員を対象に厚生労働省指定研修会受講を促す。日臨技事業である「検査説明・相談が出来る検査技師育成講習会」は当初の目標であった 3 回目の開催を行う。臨床検査技師としての検査説明相談の意義・役割を認識し「検査相談・説明室」開設への協力を行う。又、受講修了者施設での活動状況遡及調査を行い、PDCA を回したい。

学術活動としては、当会主催の各部門講習会・研修会・技術講習会は、会員の要望に応えられるよう、旬な話題や共通の問題などをテーマに企画運営していきたい。臨床検査技師の真髄である精度管理事業も継続して行い、会員施設の検査室精度管理向上のために協力したい。加えて、日臨技の検査室精度保証施設認証取得の啓発を行い、更なる取得と継続更新を促したい。日臨技・中四国支部研修会活動において、当県担当研修会の開催は勿論のこと、他県開催研修会への協力・広報活動を行い会員に参加を促したい。又、他県での研修会情報を共有して支部内活動を活発にしていきたい。

3 団体活動（OT3）の平成 28 年度研修会は当会が主体となって行う。OT3 ならではの研修会の企画を行い、他団との交流を深めたい。

新入会員研修会や親睦会（ソフトボール大会）など、会員相互の親睦を深める福利厚生事業を継続して開催したい。また、青年層が技師会活動に参加し、後に中心となって活動してくれるような企画を行いたい。例年通り、一般の方を対象とした公益事業を開催して、健康促進並びに臨床検査技師を認知してもらうべく啓発活動を行う。

ホームページは、平成 28 年度に大幅なりニューアルを考えている。会員はもとより一般の方に対しての臨床検査技師会の情報提供としてホームページを充実させたい。また、SNS などを利用した情報共有ツールも試みたい。会員への速やかな情報伝達のために会報とホームページの充実

を図りたい。

以上、平成 28 年度の事業計画の概要をご報告する。

【総務担当関係】

< 総務部 >

1. 会議

諸会議は原則として以下により開催したい。

- 1) 定款に基づき、総会は定期総会（6 月）と臨時総会（3 月）の 2 回
- 2) 理事会 : 毎月 第 1 木曜日
- 3) 担当者会議 : 総務部 2 ヶ月に 1 回
学術部 2 ヶ月に 1 回
渉外部 2 ヶ月に 1 回

2. 会員の資質、倫理の向上

永年会員や功労者、岡山県及び当該保健所などの行う表彰等に会員を推薦したい。

3. (一社) 日本臨床衛生検査技師会との連携

日本臨床衛生検査技師会や日臨技中四国支部と連携をとり、当会の運営を円滑に進めていきたい。

4. 新入会会員オリエンテーション

新入会会員対象に、岡山県臨床検査技師会活動の内容説明を含めた新入会オリエンテーションを行い、技師会活動への理解と協力要請、あわせて会員相互の親交を深める場所を提供したい。

5. 岡山県診療放射線技師会・岡山県臨床工学技士会との共同事業（OT³ コラボセミナー）

チーム医療活動の一環として参画したい。

6. 岡山県臨床検査技師会公益事業

公益事業一環としての「HIV・STD 予防啓発活動」を企画実施したい。

7. 検査説明・相談が出来る臨床検査技師の育成

日臨技の研修を修了した技師による「検査説明・相談が出来る臨床検査技師」の育成を、日臨技の指示・協力のもと、他部門と共同で実施したい。

< 会計の部 >

1. 事業活動の継続性と財政基盤の確立

公益法人会計基準に従い、財政諸表体系の適切な管理と事業の効率性を高め、財政基盤の確立に努めたい。

2. 会計処理業務の円滑化

円滑な会計処理を行い、より一層の能率化を図りたい。また、会計ソフトの更新を検討したい。

< 情報・組織部 >

1. 組織

会員動向の把握に努め、日臨技の会員管理システムに対応した「入会、継続、異動」の処理を行う。また、それに対応するために会員管理ソフトの更新を検討したい。

2. 会報の発行

会報を毎月発行し、内容の充実に努め会員の情報交換の場として提供したい。また、同時にホームページ掲載を促進したい。

3. ホームページの有効な活用と運用

HP委員会の再編成により、更なるHP・広報活動の充実に努めるとともに会員への情報の開示、伝達をスムーズに行いたい。

4. (一社)日本臨床衛生検査技師会事業

日本臨床衛生検査技師会とは独立した団体として活動していくが、互いに協力・連携を取りながら臨床検査技師の学術研鑽並びに地位向上のために積極的に協力して活動していきたい。

【学術担当関係】

< 学術・生涯部 >

1. 第47回岡山医学検査学会

本学会を平成29年3月に、倉敷市において開催したい。

2. 講演会、研修会、技術講習会

会員の学術、技術の向上を図るため、日本臨床衛生検査技師会の生涯教育研修制度と連動しながら、検査部門別及び臨床検査技師として必要な基礎的及び専門的知識を習得すると共に、専門的な技術に関する講演会、技術講習会等を下記の部門において開催したい。

1) 生物化学分析部門(臨床化学、免疫血清、環境物質、薬・毒物、遺伝子・染色体)

講演内容：未定

開催時期：平成27年7月

開催場所：未定

講演内容：未定

開催時期：平成27年11月

開催場所：未定

2) 生理機能部門(神経・平衡感覚機能、循環機能、呼吸機能、画像)

講演内容：超音波検査(内容未定)

開催時期：平成27年9月

開催場所：未定

講演内容：呼吸機能検査(内容未定)

開催時期：平成27年11月

開催場所：未定

講演内容：脳神経検査(内容未定)

開催時期：平成28年2月

開催場所：未定

3) 形態検査部門(細胞、病理、一般検査、血液)

病理・細胞

講演内容：病理部門のホルマリン管理

開催時期：平成28年12月(予定)

開催場所：岡山大学病院

血液

講演内容：「血液疾患と遺伝子学的検査」

開催時期：平成28年12月(予定)

開催場所：未定

一般検査

講演内容：「初心者講習会」

開催時期：平成28年6月

開催場所：川崎医療短期大学

講演内容：「スキルアップ研修会」

開催時期：平成28年2月

開催場所：川崎医療短期大学

中国四国支部研修会

開催時期：平成28年8月

開催場所：川崎医療短期大学

4) 感染制御部門(微生物、ウイルス、寄生虫、疫学・公衆衛生)

講演内容：「院内感染について」(仮)

開催時期：平成27年6月

開催場所：未定

講演内容：「耐性菌について」(仮)

開催時期：平成27年11月

開催場所：未定

5) 移植検査部門(輸血、移植、生殖医療)

講演内容：「輸血の困ったを解決する2」

開催時期：平成29年2月(予定)

開催場所：未定

6) 総合管理部門(企画・運営)

講演内容：「糖尿病療養指導講演会」

開催時期：平成 29 年 1 月

開催場所：未定

7) 地区別講演会

真庭地区

講演内容：「肺機能検査の“コツ”」

開催時期：平成 28 年 6 月 24 日（金）

開催場所：金田病院

講演内容：「輸血 結果の解釈と実践～非特異反応や陽性の時～」

開催時期：平成 28 年 10 月 28 日（金）

開催場所：金田病院

津山・美作地区

講演内容：「尿沈渣の細胞分類」

開催時期：平成 28 年 4 月 28 日（木）

開催場所：津山中央病院

講演内容：「生化学 データの見方」（仮題）

開催時期：平成 28 年 8 月 26 日（金）

開催場所：津山中央病院

津山・美作、真庭地区合同

講演内容：「検査技師の未来像～これからの検査技師に求められるもの～」

開催時期：平成 28 年 11 月 24 日（木）

開催場所：津山中央病院 医療研修センター
玉野地区講演会

講演内容：「日常で遭遇する異常心電図」（仮）

開催時期：平成 29 年 2 月（予定）

開催場所：玉野三井病院

< 精度管理部 >

1. 臨床検査精度管理調査

臨床検査データの精度把握のために県下の医療施設、登録衛生検査所、検診センター、検査機器試薬メーカーなどを対象とし、施設間の互換性向上のため精度管理調査を実施したい。なお、この調査は岡山県医師会との共催事業として継続したい。

案内状送付：平成 28 年 7 月初旬

試料配布：平成 28 年 8 月中旬

2. 臨床検査精度管理調査結果速報会

精度管理調査結果を参加施設に速やかにフィードバックするため、調査実施後早い時期に倉敷にて速報会を開催したい。なお、臨床検査精度管理調査結果に関する対応として、施設間差のみられる項目についてはその原因を追求し、必要に応じて施設への対応、原因の調査研究を進めたい。

また、日本臨床衛生検査技師会が認証する精度保証施設認定制度申請書類として必要となる精度管理に関する研修会とし、参加証明書を発行したい。

開催時期：平成 28 年 10 月 23 日（日）

開催場所：川崎医療短期大学

3. クロスチェックの充実

岡山県医師会との共催事業として毎月 1 回実施しているこの事業の充実を図る。施設間差是正及び日々の検査精度向上、また日臨技の標準化事業への協力体制を確立するため参加施設数の増加を実現したい。

< 出版部 >

1. 会誌

岡山医学検査を会員の研究発表の場として、年 2 回発行したい。

発行月：2 月、8 月

【 渉外担当関係 】

< 企画調査部 >

1. 健康づくり講演会

広く県民や会員を対象とした健康講演会を日臨技開催にあわせ平成 28 年 11 月に行いたい。

2. 岡山小児糖尿病協会主催行事の情報提供

サマーキャンプなどボランティアとして参加し、子供達とのふれあいを通じて自己血糖測定等の指導を行う行事の情報を、各会員にお知らせし、協力をお願いしたい。また、小児糖尿病に関する臨床検査技師として貢献出来る内容を模索していきたい。

3. 検査展の開催

公益法人として、県民の健康増進に対する取り組みとしての検査展（メタボリック・シンドローム健康チェック等）を開催したい。

< 企画青年部 >

1. つやま市民スポーツ祭

臨床検査コーナーで市民の検査ならびに相談に応じたい。

2. スポレクフェステ赤磐

臨床検査コーナーで市民の検査ならびに相談に応じたい。

3. ソフトボール大会等の親睦行事

ソフトボール大会等を開催し、会員の親睦・交

流を図りたい。

4. 臨床検査の啓発

臨床検査を啓発する新たな機会を模索して行きたい。

【地域保健医療との連携】

下記の事業に対し会員を派遣し、協力をしたい。

1. 岡山県成人病検診管理指導協議会
 - 1) 胃がん・大腸がん部会
 - 2) 肺がん部会
 - 3) 循環器疾患部会
2. 糖尿病療養指導士関係団体
 - 1) 倉敷チーム医療研究会世話人会
 - 2) 健康岡山 21 糖尿病フォーラム
3. 岡山県南西部圏域救急医療体制推進協議会

平成27年度 臨時総会役員一覧（案）

平成28年1月9日

開催日時：平成28年3月6日（日） 11時00分～12時00分
開催場所：川崎医療短期大学 200番大講義室

会長		岡本 由美
副会長		木村 泰治
		河口 勝憲
		黒川 幸徳
会場責任者		河口 勝憲
講演会責任者		高津 昌吾
総会責任者		藤岡 克徳
総会受付 (11:00～)	2名	福島 明徳
	写真 1名	綱島 充英 倉敷中央病院
司会進行	(司会者挨拶)	藤岡 克徳
開会の辞		木村 泰治
会長挨拶		岡本 由美
来賓挨拶		
議長選出		
議長	2名 (議長挨拶)	
役員選出		
資格審査・ 議事運営委員	会員 3名	森本 信太郎 岡山旭東病院
		松本 美智代 岡山済生会病院
		青江 伯規 岡山大学病院
	理事 2名	前田 敦子
		栗谷 純子
書記	会員 1名	森岡 知子 川崎病院
	理事 1名	岩崎 学
議事録署名人	会員 1名	畠山 裕志 笠岡市立市民病院
	理事 1名	前田 敦子
議案審議		
1号 役員改選	選挙管理委員長	市川 治 岡山赤十字病院
事業報告		
事業計画	事業報告	岡本 由美
	総務	木村 泰治
	学術	河口 勝憲
	渉外	黒川 幸徳
予算	会計	福島 明徳
総会役員解任		
議長挨拶		
閉会の辞		黒川 幸徳

平成27年12月14日

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
会長 宮島 喜文 様

一般社団法人 日本臨床検査薬協会
コンプライアンス委員会
委員長 山口 正仁



臨薬協 プロモーション地区会開催のご案内

平素は臨薬協の活動にご理解とご尽力いただき誠にありがとうございます。

臨薬協では本年度も業界の健全なる発展を補完するために、プロモーション地区会を通して、体外診断用医薬品のコンプライアンスの啓発活動を1月より全国7ヶ所で実施いたします。御技師会の会員の皆様にもぜひ聞いて頂きご指導ご鞭撻を賜りたくご案内させていただきます。

開催スケジュールは下記の通り1月18日から2月26日まで、全国7地区で開催致します。今回は改訂された「体外診断用医薬品プロモーションガイドライン 解説書」について主に紹介させていただきます。

参加して頂ける様でしたら、事前に開催地区の正幹事（添付資料）にご一報いただきたくお願い申し上げます。

【開催スケジュール】（詳細は添付資料参照）

- ① 北海道地区：平成28年1月18日（月）（札幌市教育文化会館）
- ② 東北地区：2月15日（月）（仙台橋本ビル）
- ③ 関東甲信越地区：2月26日（金）（TKPガーデンシティ永田町）
- ④ 東海・北陸地区：1月25日（月）（名古屋グレイブスリック2号館）
- ⑤ 近畿地区：2月4日（木）（大阪商工会議所）
- ⑥ 中国・四国地区：1月25日（月）（RCC文化センター）
- ⑦ 九州地区：1月15日（金）（JR博多シティ会議室）

以上



H27年度 臨薬協流通委員会プロモーション地区会 予定表

2015.12.8

開催日時、場所

(一社)日本臨床検査薬協会

地区	日時	会場	住所
北海道	2016年1月18日(月)15:00-17:00	札幌市教育文化会館	札幌市中央区北1条西13丁目
東北	2016年2月15日(月)14:30-16:30	仙台橋本ビルB1階	仙台市青葉区立町27-21
関東甲信越	2016年2月26日(金)15:00-17:00	TKPガーデンシティ永田町 ホール3A	東京都千代田区平河町2-13-12
東海北陸	2016年1月25日(月)15:00-17:00	名古屋ダイヤビルツタ2号館	名古屋市中村区名駅3-16-22
近畿	2016年2月 4日(木)14:45-16:45	大阪商工会議所	大阪市中央区本町橋2-8
中国四国	2016年1月25日(月)14:00-16:00	RCC文化センター	広島市中区橋本町5-11
九州	2016年1月15日(金)14:00~16:00	JR博多シティ会議室 10F大会議室	福岡市博多区博多駅中央街1-1

連絡先：臨薬協流通委員会プロモーション地区会正幹事

地区	会社名	氏名	住所	電話	Eメール
北海道	(株)シノテラスト	田谷 考司	札幌市中央区南2条西13丁目319南大通ビル2条館3F	011-280-2770	koji.taya@shino-test.co.jp
東北	栄研化学(株)	山口 邦彦	仙台市青葉区上杉2-3-7 K2小田急ビル7F	022-712-2882	Kunihiko_Yamaguchi@eiken.co.jp
関東甲信越	アポットジヤパン(株)	細井 慶一	東京都港区三田3-5-27住友不動産ビル西館	03-4555-1005	keiichi.hosoi@abbott.com
東海・北陸	アポットジヤパン(株)	小島 正典	名古屋市中区一社4-97	052-702-3508	masanori.kojima@abbott.com
近 畿	(株)ミズホメディー	藤田 実	大阪市福島区福島5-3-7 エヌテイ西梅田ビル 302	06-6458-5711	fujita@mizuhon-m.co.jp
中国・四国	アルコレッサ ファーマ(株)	小出 憲弘	広島市中区中町8-12 広島グリーンビル5階	082-545-7835	no-koide@alfresa-pharma.co.jp
九 州	アルコレッサ ファーマ(株)	成清 治男	福岡市博多区神屋町4-5 KS神屋ビル2F	092-283-6306	ha-narikiyo@alfresa-pharma.co.jp

逢沢一郎 新春の集いのご案内

謹啓 歳末ご多端の折、皆様にはますますご清栄にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

平素より逢沢一郎代議士の政治活動に対しまして温かいご指導とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

逢沢一郎代議士は「一億総活躍社会」実現に向けた具体策を検討する「自民党一億総活躍推進本部長」として、責任感と使命感を持って、国政で全力を尽くしております。引き続きのご指導とご鞭撻をいただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

皆様とともに新しい年を心新たにスタートいたしたいと願ひ、下記の通り、「逢沢一郎 新春の集い」を計画いたしました。皆様お誘い合わせてのご出席をお願い申し上げます。

謹白

記

[日時] 平成28年2月11日(木・祝)午後2時開会

[場所] ホテルグランヴィア岡山 4階フェニックス

岡山市北区駅元町1-5 TEL(086)234-7000

駐車場に限りがありますので公共交通機関をご利用下さい。

[会費] 3,000円

当日、会場にて申し受けます。

※尚、1月29日(金)迄にご返信頂ければ幸甚です。

※この催物は、政治資金規制法第8条の2項に規定する政治資金パーティーです。

逢沢一郎後援会・自民党岡山県第一選挙区支部事務所

〒700-0933 岡山市北区奥田1-2-3

TEL 086-233-0016 FAX 086-232-7616

E-mail:ask-aisawa@aisawa.net

FAX 086-232-7616

F A X 送 付 状

逢沢一郎 新春の集い

ご出席 (計 名様) **ご欠席**

企業・団体名

御住所 〒

御芳名

お役職

代理でご出席される方の御芳名

※企業・団体名、御住所、御芳名、お役職を改めてご記入下さい。

※代理の方がご出席される場合は、代表者の御芳名、代理の方の御芳名とともにご記入下さい。

—— 皆様方のご意見・ご要望や身近な情報をお寄せ下さい。 ——

(一社)岡山県臨床検査技師会会長様

予 算 決 裁 時	理事	担当部長	会計	副会長	会長	決 算 決 裁 時	理事	担当部長	会計	副会長	会長
	渡辺	高津	植本	河口	岡本						

講演会等企画

予算書 提出日: 2015/10/27

決算書 提出日:

企 画 分 野	生理機能部門 ()		
講演会等を下記のとおり企画し、提案および報告をいたします。 提案者: 渡辺 修久			
テ - マ ・ 内 容	さあ、はじめよう！血管超音波検査！！		
日 時	平成28年1月30日(土) 13時00分 ~ 17時00分		
会 場	岡山大学医学部基礎講義棟 2階講義室 TEL:		
生 涯 教 育 点 数	生涯教育点数 : 専門 - 20	募集人員 : 120 名	受講料 : 500 円
	生涯教育点数 : -	募集人員 : 名	受講料 : 円
司 会	(会員)	(氏名)	(役職名)
	334556	渡辺 修久	主任
共 催	(施設名)		
	岡山大学病院		

収支予算案					【参加者数詳細】			
【収入の部】	予算額	決算額	差異	備考・摘要	最終参加 人 (うち講師・実務委員 人)			
参 加 費	60,000				最終参加 人 (うち講師・実務委員 人)			
参加協賛収入	0				【協賛詳細】 (予算なし社) (決算 -- 社)			
雑 収 入						円	円	
						円	円	
						円	円	
収入小計	60,000					円	円	
【支出の部】	予算額	決算額	差異	備考・摘要	【講師詳細】 講師 3 名 (予算時講師人数)			
講 師 料	20,000				氏 名	林 愛子	会員番号	384509
旅 費	8,000				所 属	姫路赤十字病院		
講師支払額	28,000				肩 書 き			
講 師 謝 金	31,183				備 考			
講 師 料	5,000				氏 名	有高 進悟	会員番号	334757
旅 費	0				所 属	心臓病センター榊原病院		
講師支払額	5,000				肩 書 き	技師長		
講 師 謝 金	5,568				備 考			
講 師 料	5,000				氏 名	横田 佳代子	会員番号	286030
旅 費	0				所 属	公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院		
講師支払額	5,000				肩 書 き			
講 師 謝 金	5,568				備 考			
講 師 料	0				氏 名		会員番号	
旅 費	0				所 属			
講師支払額	0				肩 書 き			
講 師 謝 金	0				備 考			
会 場 費	10,000				【運営費等詳細】 (会員交通費は'様式07 出張報告書'を提出)			
旅 費 日 当	5,000				実務委員3名			
通 信 費								
消耗品・雑費								
運 営 費	5,000							
雑 費	2,681				【雑費他詳細】			
支出小計	60,000							
収支差額	0							

講師派遣	理事	担当部長	会計	副会長	会長	事務所	礼状
	渡辺	15/10/30 高津	植本		岡本		

講演会等講師派遣依頼書

予算書提出: 2015/10/27

企画分野	生理機能部門									
下記の通り講師派遣および協力依頼の申請をいたします。 提案者: 渡辺 修久										
テーマ・内容	さぁ、はじめよう！血管超音波検査！！									
日時	平成28年1月30日(土) 13時00分 ~ 17時00分									
会場	岡山大学医学部基礎講義棟 2階講義室 TEL:									
生涯教育点数	生涯教育点数	専門	-	20	募集人員	120	受講料	500	円	
	生涯教育点数	-	-	-	募集人員	名	受講料	円		
司 会	(会員)	(氏名)	(役職名)	(施設名)						
	334556	渡辺 修久	主任	岡山大学病院						
共 催										
講師派遣依頼										
講 師	氏 名	林 愛子			会 員 No.	384509				
	演 題	下肢動脈超音波検査								
	(本人宛) <input checked="" type="radio"/> 必要 <input type="radio"/> 不要	施設名	姫路赤十字病院			肩 書 き				
		施設住所	〒 670-8540 姫路市下手野1丁目12-1			自宅住所	〒 -			
講 師	氏 名	佐藤 四三			会 員 No.					
	演 題	腎動脈超音波検査								
	(本人宛) <input checked="" type="radio"/> 必要 <input type="radio"/> 不要	施設名	姫路赤十字病院			肩 書 き	院長			
		施設住所	〒 670-8540 姫路市下手野1丁目12-1			自宅住所	〒 -			
講 師	氏 名	有高 進悟			会 員 No.	334757				
	演 題	腎動脈超音波検査								
	(本人宛) <input checked="" type="radio"/> 必要 <input type="radio"/> 不要	施設名	心臓病センター榊原病院			肩 書 き	技師長			
		施設住所	〒 700-0804 岡山市北区中井町2丁目5-1			自宅住所	〒 -			
講 師	氏 名	岡崎 悟			会 員 No.					
	演 題	腎動脈超音波検査								
	(本人宛) <input checked="" type="radio"/> 必要 <input type="radio"/> 不要	施設名	心臓病センター榊原病院			肩 書 き	院長			
		施設住所	〒 700-0804 岡山市北区中井町2丁目5-1			自宅住所	〒 -			
講 師	氏 名	横田 佳代子			会 員 No.					
	演 題	下肢静脈超音波検査								
	(本人宛) <input checked="" type="radio"/> 必要 <input type="radio"/> 不要	施設名	公益財団法人 大原記念倉敷中央医療			肩 書 き				
		施設住所	〒 710-8602 倉敷市美和1丁目1-1			自宅住所	〒 -			
講 師	氏 名	小笠原 敬三			会 員 No.					
	演 題	腎動脈超音波検査								
	(本人宛) <input checked="" type="radio"/> 必要 <input type="radio"/> 不要	施設名	公益財団法人 大原記念倉敷中央医療			肩 書 き	院長			
		施設住所	〒 710-8602 倉敷市美和1丁目1-1			自宅住所	〒 -			
協 力 依 頼										
社 名	社 名				協 力 金	円				
	送付氏名				送付先	〒 -				
社 名	社 名				協 力 金	円				
	送付氏名				送付先	〒 -				
社 名	社 名				協 力 金	円				
	送付氏名				送付先	〒 -				
社 名	社 名				協 力 金	円				
	送付氏名				送付先	〒 -				

(会報担当者宛)

会報掲載依頼書

予算書提出: 2015/10/27

企 画 分 野	生理機能部門 ()		
担 当 者	渡辺 修久		
施 設 名・所 属	岡山大学病院 医療技術部		
施 設 住 所	岡山市北区鹿田町2 - 5 - 1		
電 話 番 号・F A X	086-223-7151		
E m a i l	watan-n@cc.okayama-u.ac.jp		
テ ー マ・内 容	さぁ、はじめよう！ 血管超音波検査！！		
注 意 事 項 伝 達 事 項			
講 習 会 の ポ イ ン ト この内容を会報に 掲載します。	これから血管超音波検査(腎動脈、下肢静脈、下肢動脈)をはじめようと考えている方、もう一度、初心に帰って検査方法、テクニックを見直したい方、様々なニーズに応えるべく、各領域の経験豊富な先生に講演していただきます。この機会に、是非、頭の中を整理して、聞きたい事を聞いておきましょう。		
日 時	平成28年1月30日(土) 13時00分 ~ 17時00分 ~		
会 場	岡山大学医学部基礎講義棟 2階講義室		TEL:
生涯教育点数	生涯教育点数	: 専門 - 20	募集人員 : 120 名 受講料 : 500 円
	生涯教育点数	: -	募集人員 : 名 受講料 : 円
共 催			
講 師			
講 師	氏 名	林 愛子	会 員 No. 384509
	演 題	下肢動脈超音波検査	
	施 設 名	姫路赤十字病院	肩 書 き
講 師	氏 名	有高 進悟	会 員 No. 334757
	演 題	腎動脈超音波検査	
	施 設 名	心臓病センター榊原病院	肩 書 き 技師長
講 師	氏 名	横田 佳代子	会 員 No. 286030
	演 題	下肢静脈超音波検査	
	施 設 名	公益財団法人 大原記念倉敷中央医療	肩 書 き
講 師	氏 名		会 員 No.
	演 題		
	施 設 名		肩 書 き
協 力 各 社			
社 名			
社 名			
社 名			
社 名			

さあ、はじめよう！血管超音波検査！！

これから血管超音波検査（腎動脈、下肢静脈、下肢動脈）をはじめようと考えている方、もう一度、初心に帰って検査方法、テクニクを見直したい方、様々なニーズに応えるべく、各領域の経験豊富な先生に講演していただきます。この機会に、是非、頭の中を整理して、聞きたい事を聞いておきましょう。



血管超音波テキストより

日時：平成28年1月30日（土） 14:00～16:30（13:30 受付開始）

場所：岡山大学医学部基礎医学講義実習棟 2階講義室

参加費：500円

生涯教育点数：専門-20点

講演1

腎動脈

有高 進悟 先生（心臓病センター神原病院）

講演2

下肢静脈

横田 佳代子 先生（倉敷中央病院）

講演3

下肢動脈

林 愛子 先生（姫路赤十字病院）



会場は、⑬ 基礎医学講義実習棟 2階です。

担当：岡山大学病院 渡辺 修久 (watan-n@cc.okayama-u.ac.jp)

主催：一般社団法人 岡山県臨床検査技師会

(社)岡山県臨床検査技師会長 様

企画 予算時	理事	担当部長	副会長	会長	企画 決算時	理事	担当部長	会計	副会長	会長
	渡辺	高津	河口	岡本						

講演会等 企画予算書

予算書提出: 2015/12/07

決算書提出:

企画分野	生理機能部門 ()									
講演会等を下記のとおり企画し、提案および報告をいたします。					提案者: 渡辺 修久 (岡本 年生)					
テーマ・内容	ALSなどの神経筋疾患における電気生理検査 ~反復刺激検査のライブデモを含めて~									
日時	平成28年2月20日(土) 14時00分 ~ 16時00分									
会場	川崎医科大学附属病院 11階東 臨床教育研修センター TEL: 086-464-1152									
生涯教育点数	生涯教育点数 : 専門 - 20		募集人員 : 80 名		受講料 : 500 円					
	生涯教育点数 : -		募集人員 : 名		受講料 : 円					
司 会	(会員)	(氏名)	(役職名)	(施設名)						
	330875	岡本 年生	主任技師	川崎医科大学附属病院中央検査部						
共 催	日本光電中四国株式会社									
収支予算案					【参加者数詳細・協賛内容】 (協賛 0 社)					
【収入の部】	予算額	決算額	差異	備考・摘要	最終参加人数	人 (うち実務委員 人)				
参加費	40,000				最終参加人数	人 (うち実務委員 人)				
参加協賛収入	0				協賛 :				円	
雑収入					協賛 :				円	
					協賛 :				円	
収入小計	40,000				協賛 :				円	
【支出の部】	予算額	決算額	差異	備考・摘要	【講師詳細】 (講師 1 名)					
講師料	30,000				氏名	黒川 勝巳	会員番号			
旅費日当	2,000				所属	川崎医科大学神経内科学				
講師謝金	32,000				肩書き	准教授				
講師謝金支払額	35,638				備考					
講師料					氏名		会員番号			
旅費日当					所属					
講師謝金					肩書き					
講師謝金支払額					備考					
講師料					氏名		会員番号			
旅費日当					所属					
講師謝金					肩書き					
講師謝金支払額					備考					
会場費	0				【運営費等詳細】					
旅費日当	2,000				実務委員2名					
通信費					水代等					
消耗品・雑費	500									
運営費	2,500									
雑費	1,862				【雑費他詳細】					
					機器等は、日本光電より無償レンタル					
支出小計	40,000									
収支差額	0		--							

(社)岡山県臨床検査技師会長 様

講師派遣	理事	担当部長	会計	副会長	会長	事務所	礼状
	渡辺	学術 15/12/25 高津	植本				

講演会等講師派遣依頼書

予算書提出: 2015/12/07

企画分野	生理機能部門						
下記の通り講師派遣および協力依頼の申請をいたします。 提案者: 渡辺 修久 (岡本 年生)							
テーマ・内容	ALSなどの神経筋疾患における電気生理検査日反復刺激検査のライブデモを含めて～						
日時	平成28年2月20日(土) 14時00分 ~ 16時00分						
会場	川崎医科大学附属病院 11階東 臨床教育研修センター TEL: 086-464-1152						
生涯教育点数	生涯教育点数	: 専門	- 20	募集人員	: 80 名	受講料	: 500 円
	生涯教育点数	:	-	募集人員	:	名	受講料
司 会	(会員)	(氏名)	(役職名)	(施設名)			
	330875	岡本 年生	主任技師	川崎医科大学附属病院中央検査部			
共 催	日本光電中四国株式会社						
講師派遣依頼							
講 師	氏 名	黒川 勝巳				会 員 No.	
	演 題	ALSなどの神経筋疾患における電気生理検査					
本人宛 <input checked="" type="radio"/> 必要 <input type="radio"/> 不要	施設名	川崎医科大学神経内科学				肩 書 き	准教授
	施設住所	〒 701-0192 岡山県倉敷市松島577					
	自宅住所	〒 -					
施設長等宛 <input type="radio"/> 必要 <input checked="" type="radio"/> 不要	氏 名					会 員 No.	
	施設名	川崎医科大学神経内科学				肩 書 き	
	施設住所	〒 701-0192 岡山県倉敷市松島577					
講 師	氏 名					会 員 No.	
	演 題						
本人宛 <input type="radio"/> 必要 <input type="radio"/> 不要	施設名					肩 書 き	
	施設住所	〒 -					
	自宅住所	〒 -					
施設長等宛 <input type="radio"/> 必要 <input type="radio"/> 不要	氏 名					会 員 No.	
	施設名					肩 書 き	
	施設住所	〒 -					
講 師	氏 名					会 員 No.	
	演 題						
本人宛 <input type="radio"/> 必要 <input type="radio"/> 不要	施設名					肩 書 き	
	施設住所	〒 -					
	自宅住所	〒 -					
施設長等宛 <input type="radio"/> 必要 <input type="radio"/> 不要	氏 名					会 員 No.	
	施設名					肩 書 き	
	施設住所	〒 -					
講 師	氏 名					会 員 No.	
	演 題						
本人宛 <input type="radio"/> 必要 <input type="radio"/> 不要	施設名					肩 書 き	
	施設住所	〒 -					
	自宅住所	〒 -					
施設長等宛 <input type="radio"/> 必要 <input type="radio"/> 不要	氏 名					会 員 No.	
	施設名					肩 書 き	
	施設住所	〒 -					
協力依頼							
社 名	社 名					協 力 金	円
	送付氏名					協 力 金	円
社 名	社 名					協 力 金	円
	送付氏名					協 力 金	円
社 名	社 名					協 力 金	円
	送付氏名					協 力 金	円
社 名	社 名					協 力 金	円
	送付氏名					協 力 金	円

(会報担当者宛)

会報掲載依頼書

予算書提出: 2015/12/07

企 画 分 野	生理機能部門 ()					
担 当 者	渡辺 修久 (岡本 年生)					
施 設 名・所 属	岡山大学病院 医療技術部 検査部門					
施 設 住 所	岡山市北区鹿田町2 - 5 - 1					
電 話 番 号・F A X	086-223-7151 (内線7676)					
E m a i l	渡辺: watan-n@cc.okayama-u.ac.jp (岡本: tosh1960@med.kawasaki-m.ac.jp)					
テ ー マ・内 容	ALSなどの神経筋疾患における電気生理検査 ～ 反復刺激検査のライブデモを含めて～					
注 意 事 項 伝 達 事 項	13:00～受付開始					
講 習 会 の ポ イ ン ト この内容を会報に 掲載します。	神経伝導検査をはじめとする誘発筋電図検査は、ALSや各種神経筋疾患の診断には欠かせないものであり、検査手技や結果の解釈、注意点など、様々な講義がなされ、積極的に導入している施設が多い。しかし、施行にあたり、自信をもって結果が報告できていない施設もあると思う。また、反復刺激検査は、重症筋無力症やランパートイトン筋無力症の診断法として確立されているものの、技師側で実施している施設は少数である。これらの事を踏まえ、今回は神経伝導検査の知識の整理と、反復刺激検査について施行上の注意点や最近の知見など、ライブデモを行いながら講義していただく。					
日 時	平成28年2月20日 (土) 14時00分 ~ 16時00分 ~					
会 場	川崎医科大学附属病院 11階東 臨床教育研修センター TEL: 086-464-1152					
生涯教育点数	生涯教育点数 :	専門-20	募集人員 :	80 名	受講料 :	500 円
	生涯教育点数 :	-	募集人員 :	名	受講料 :	円
共 催	日本光電中四国株式会社					
講 師						
講 師	氏 名	黒川 勝巳		会 員 No.		
	演 題	ALSなどの神経筋疾患における電気生理検査日反復刺激検査のライブデモを含めて～□				
	施 設 名	川崎医科大学神経内科学	肩 書 き	准教授		
講 師	氏 名			会 員 No.		
	演 題					
	施 設 名		肩 書 き			
講 師	氏 名			会 員 No.		
	演 題					
	施 設 名		肩 書 き			
講 師	氏 名			会 員 No.		
	演 題					
	施 設 名		肩 書 き			
協 力 各 社						
社 名						
社 名						
社 名						
社 名						

岡山県臨床検査技師会 生理機能部門講習会

ALSなどの神経筋疾患における電気生理検査

日時:平成 28 年 2 月 20 日(土)14:00~16:00

場所:川崎医科大学附属病院11階臨床教育研修センター 下図を参照してください。

駐車場は外来駐車場をご利用ください。駐車料金は1時間100円、自費でお願いします。

参加費:500円

生涯教育:専門-20点

●講演(14:00~16:00)

ALSなどの神経筋疾患における電気生理検査 ~反復刺激検査のライブデモを含めて~

講師 川崎医科大学 神経内科 黒川 勝己先生

神経伝導検査をはじめとする誘発筋電図検査は、ALSや各種神経筋疾患の診断には欠かせないものであり、積極的に導入している施設が多いと思いますが、施行にあたり、自信をもって結果が報告できているでしょうか。また、反復刺激検査は、重症筋無力症やランバートイートン筋無力症の診断法として確立されていますが、技師側で実施している施設はあまりないと思います。今回は、神経伝導検査の知識の整理と反復刺激検査について、施行上の注意点や最近の知見など、ライブデモを行いながら講義していただく予定です。

検査機器を2台用意しています。講義のあと、ご自由に使用いただけますので、日ごろの疑問を黒川先生にぶつけてみてはいかがでしょうか？



担当:川崎医科大学附属病院 岡本年生 (tosh1960@med.kawasaki-m.ac.jp)

主催:一般社団法人 岡山県臨床検査技師会 共催:日本光電中国四国株式会社

(一社)岡山県臨床検査技師会会長様

理事	担当部長	会計	副会長	会長	理事	担当部長	会計	副会長	会長
予算 決裁時	鳥越	植本	河口	岡本	決算 決裁時	鳥越	植本	河口	岡本

講演会等企画

予算書	提出日: 2015/09/07	決算書	提出日: 2015/11/22
-----	-----------------	-----	-----------------

企画分野	感染制御部門		
講演会等を下記のとおり企画し、提案および報告をいたします。			
提案者	鳥越 道弘		
テーマ・内容	耐性菌の検査法		
日時	平成27年11月21日(土) 14時30分 ~ 16時30分		
会場	岡山大学鹿田キャンパス内(学生会館) 2F会議室 TEL:		
生涯教育点数	生涯教育点数 : 専門 - 20	募集人員 : 80名	受講料 : 500円
	生涯教育点数 : -	募集人員 : 名	受講料 : 円
司会	(会員)	(氏名)	(役職名)
	334739	能勢 資子	岡山大学病院
共催			

収支予算案					【参加者数詳細】		
【収入の部】	予算額	決算額	差異	備考・摘要	最終参加 46人 (うち講師・実務委員 3人)		
参加費	40,000	24,000	16,000	会員37名	最終参加 人 (うち講師・実務委員 人)		
参加協賛収入	15,000	15,000	0	賛助会員5名	【協賛詳細】 (予算 1社) (決算 1社)		
雑収入				非会員1名	日水製薬株式会社	15,000円	15,000円
						円	円
						円	円
収入小計	55,000	39,000	16,000			円	円
【支出の部】	予算額	決算額	差異	備考・摘要	【講師詳細】 講師 1名 (予算時講師人数)		
講師料	30,000	30,000	0		氏名	中村 竜也	会員番号 275768
旅費	12,000	12,000	0		所属	神戸大学医学部附属病院	
講師支払額	42,000	42,000	0		肩書き	検査部主任/感染制御部副部長	
講師謝金	46,775	46,775	0		備考		
講師料					氏名		会員番号
旅費					所属		
講師支払額					肩書き		
講師謝金					備考		
講師料					氏名		会員番号
旅費					所属		
講師支払額					肩書き		
講師謝金					備考		
講師料					氏名		会員番号
旅費					所属		
講師支払額					肩書き		
講師謝金					備考		
会場費	5,000	2,200	2,800		【運営費等詳細】 (会員交通費は'様式07'出張報告書,を提出)		
旅費日当	3,000	1,000	2,000		旅費日当:実務委員		
通信費					雑費:会場謝礼、講師水他		
消耗品・雑費							
運営費	3,000	1,000	2,000				
雑費	225	0	225		【雑費他詳細】		
支出小計	55,000	49,975	5,025				
収支差額	0	10,975					

(一社)岡山県臨床検査技師会会長様

理事	担当部長	会計	副会長	会長	理事	担当部長	会計	副会長	会長
予算 決裁時	小林				決算 決裁時	小林	植本	河口	岡本



講演会等企画

予算書	提出日: 2015/09/02	決算書	提出日: 2015/12/17
-----	-----------------	-----	-----------------

企画分野	生物化学分析部門 (県北合同講演会)		
講演会等を下記のとおり企画し、提案および報告をいたします。 提案者: 小林 尚子			
テーマ・内容	「HCV抗体検査って？」		
日時	平成27年11月26日(木) 19時00分 ~ 20時30分		
会場	津山中央病院研修センター2階 講義室 TEL: 0868-21-8111		
生涯教育点数	生涯教育点数 : 専門 - 20	募集人員 : 60 名	受講料 : 500 円
	生涯教育点数 : -	募集人員 : 名	受講料 : 円
司 会	(会員)	(氏名)	(役職名)
	330994	櫻井 博重	
共 催	(施設名)		
		医療法人和風会 中島病院	

収支予算案				【参加者数詳細】				
【収入の部】	予算額	決算額	差異	備考・摘要	最終参加 35 人 (うち講師・実務委員 3 人)			
参加費	30,000	16,000	14000		最終参加 人 (うち講師・実務委員 人)			
参加協賛収入	0	0	0		【協賛詳細】 (予算なし社) (決算 0 社)			
雑収入						円	円	
						円	円	
						円	円	
収入小計	30,000	16,000	14000			円	円	
【支出の部】	予算額	決算額		備考・摘要	【講師詳細】 講師 1 名 (予算時講師人数)			
講師料	20,000	20,000	0		氏名	佐藤 達郎	会員番号	330339
旅費					所属	一般財団法人倉敷成人病センター臨床検査課		
講師支払額	20,000	20,000	0		肩書き			
講師謝金	22,274	22,274	0		備考			
講師料					氏名		会員番号	
旅費					所属			
講師支払額					肩書き			
講師謝金					備考			
講師料					氏名		会員番号	
旅費					所属			
講師支払額					肩書き			
講師謝金					備考			
会場費		0	0		【運営費等詳細】 (会員交通費は'様式07 出張報告書'を提出)			
旅費日当	5,000	4,500	500		講師交通費、実務委員2名			
通信費								
消耗品・雑費								
運営費	5,000	4,500	500					
雑費			0		【雑費他詳細】			
支出小計	27,274	26,774	500					
収支差額	2,726	10,774						

(一社)岡山県臨床検査技師会会長様

理事	担当部長	会計	副会長	会長	理事	担当部長	会計	副会長	会長
予算 決裁時	佐藤	高津	河川	岡本	決算 決裁時	佐藤	植本	河川	岡本

講演会等企画

予算書	提出日: 2015/08/31	決算書	提出日: 2015/12/01
-----	-----------------	-----	-----------------

企画分野	生物化学分析部門 ()		
講演会等を下記のとおり企画し、提案および報告をいたします。 提案者: 佐藤 達郎			
テーマ・内容	ぶっちゃけ！免疫血清		
日時	平成27年11月28日(土) 14時20分 ~ 16時50分		
会場	川崎医療短期大学 体育館 TEL: 086-462-1111		
生涯教育点数	生涯教育点数 : 専門 - 20	募集人員 : 100 名	受講料 : 500 円
	生涯教育点数 : -	募集人員 : 名	受講料 : 円
司 会	(会員)	(氏名)	(役職名)
	335223	三宅 雅之	岡山大学病院
	334959	高橋 陽平	岡山療護センター
共 催	ニッポーメディカル株式会社、富士レビオ株式会社		

収支予算案					【参加者数詳細】			
【収入の部】	予算額	決算額	差異	備考・摘要	最終参加 85 人 (うち講師・実務委員 8 人)			
参加費	50,000	38,500	11,500		最終参加 人 (うち講師・実務委員 人)			
参加協賛収入	0	0	0		【協賛詳細】 (予算なし社) (決算 -- 社)			
雑収入						円	円	
						円	円	
						円	円	
収入小計	50,000	38,500	11,500			円	円	
【支出の部】	予算額	決算額	差異	備考・摘要	【講師詳細】 講師 3 名 (予算時講師人数)			
講師料	20,000	20,000	0		氏名	木下 敬一郎	会員番号	274552
旅費	10,000	10,000	0		所属	鳥取赤十字病院		
講師支払額	30,000	30,000	0		肩書き			
講師謝金	33,411	33,411	0		備考			
講師料	0	0	0		氏名	脇 雅宏	会員番号	
旅費	0	0	0		所属	ニッポーメディカル株式会社		
講師支払額	0	0	0		肩書き	品質管理部 薬事グループ 課長		
講師謝金	0	0	0		備考			
講師料	0	0	0		氏名	福田 雅之助	会員番号	
旅費	0	0	0		所属	富士レビオ株式会社 学術サービス部		
講師支払額	0	0	0		肩書き			
講師謝金	0	0	0		備考			
講師料					氏名		会員番号	
旅費					所属			
講師支払額					肩書き			
講師謝金					備考			
会場費		0	0		【運営費等詳細】 (会員交通費は'様式07 出張報告書'を提出)			
旅費日当	10,000	5,940	4,060		旅費日当:実務委員7名			
通信費					雑費:会場謝礼			
消耗品・雑費	4,000	3,260	740					
運営費	14,000	9,200	4,800					
雑費	2,589		2,589		【雑費他詳細】			
支出小計	50,000	42,611	7,389					
収支差額	0	4,111						

(一社)岡山県臨床検査技師会会長様

理事	担当部長	会計	副会長	会長	理事	担当部長	会計	副会長	会長	
予算 決裁時	中川	學術 15/07/31 高津	河口	岡本	決算 決裁時	中川	學術 12/12/20 高津	植本	河口	岡本

講演会等企画

予算書 提出日: 2015/07/28

決算書 提出日: 2015/12/09

企画分野	形態検査部門 (一般検査部門)		
講演会等を下記のとおり企画し、提案および報告をいたします。 提案者: 中川 裕美			
テーマ・内容	平成27年度 第1回 一般検査部門講演会 「細胞にとことんこだわってみよう!!」		
日時	平成27年12月6日(日) 10時00分 ~ 16時10分		
会場	川崎医療短期大学 200番 TEL:		
生涯教育点数	生涯教育点数 : 専門 - 20	募集人員 : 100名	受講料 : 1,000円
	生涯教育点数 : -	募集人員 : 名	受講料 : 円
司会	(会員)	(氏名)	(役職名)
	330257	吉沢 梨津好	室長
	334874	天野 真依子	倉敷成人病センター
共催	栄研化学株式会社		

収支予算案					【参加者数詳細】		
【収入の部】	予算額	決算額	差異	備考・摘要	最終参加 165人 (うち講師・実務委員 13人)		
参加費	100,000	150,000	50,000		最終参加 人 (学生 2人)		
参加協賛収入	20,000	20,000	0		【協賛詳細】 (予算 1社) (決算 1社)		
雑収入					栄研化学(広告展示料)	20,000円	20,000円
						円	円
						円	円
収入小計	120,000	17,000	50,000			円	円
【支出の部】	予算額	決算額	差異	備考・摘要	【講師詳細】 講師 4名 (予算時講師人数)		
講師料	20,000	20,000	0		氏名	八木 靖二	会員番号 131989
旅費	45,000	45,000	0	宿泊費込み	所属	がん研有明病院 臨床検査センター	
講師支払額	65,000	65,000	0		肩書き		
講師謝金	72,391	72,391	0		備考		
講師料	10,000	10,000	0		氏名	石倉 寛子	会員番号 330053
旅費					所属	岡山大学病院	
講師支払額	10,000	10,000	0		肩書き		
講師謝金	11,137	11,137	0		備考		
講師料	10,000	10,000	0		氏名	米 亮祐	会員番号 334915
旅費					所属	川崎医科大学附属病院	
講師支払額	10,000	10,000	0		肩書き		
講師謝金	11,137	11,137	0		備考		
講師料	0	0	0		氏名		会員番号
旅費					所属	栄研化学株式会社	
講師支払額	0	0	0		肩書き		
講師謝金	0	0	0		備考		
会場費		0	0		【運営費等詳細】 (会員交通費は'様式07'出張報告書,を提出)		
旅費日当	7,000	11,520	4,520	実務委員6名・司会4名・演者2名			
会場謝礼	3,240	3,240	0				
消耗品・雑費	10,000	0	10,000	印刷費			
運営費	20,240	14,760	5,480				
雑費	5,095	0	5,095		【雑費他詳細】		
支出小計	120,000	109,425	10,575				
収支差額	0	60,575					

(平成28年1月 理事会)

岡臨技3カ月間予定表

開催日： 1月9日 開催地：岡山済生会総合病院（岡山市）

期 間：平成28年1月1日～平成28年5月31日

年	月	日	曜	活 動(行事)・開催地・内 容(概要)			
会 議 等	28	1	9	土	理事会・・・岡山済生会総合病院 新年互礼会・・・ANAクラウンプラザホテル岡山		
		2	4	木	常務理事会・・・技師会事務所		
					総務担当会議・・・技師会事務所		
			18	木	学術担当会議・・・技師会事務所		
					渉外担当会議・・・済生会吉備病院		
		3	3	木	理事会・・・技師会事務所		
			6	日	平成27年度臨時総会・・・川崎医療短期大学 臨時理事会・・・川崎医療短期大学		
		4	7	木	理事会・・・技師会事務所		
					総務担当会議・・・技師会事務所		
			21	木	学術担当会議・・・技師会事務所		
					渉外担当会議・・・済生会吉備病院		
		5	12	木	理事会・・・技師会事務所		
		講 演 会 等	28	1	17	日	平成27年度 糖尿病療養指導講演会「糖尿病を基本から学びましょう!!」 会場：川崎現代医学教育博物館
					23	土	平成27年度 OT3 セミナー 会場：岡山生涯学習センター 人と科学の未来館サイピア 病理部門講演会「困った病理3・免疫染色の精度管理～その免疫染色、大丈夫!?～」 会場：岡山大学医学部保健学科 301大講義室
					30	土	生理部門講演会「さあ、はじめよう！血管超音波検査！！」 会場：岡山大学医学部基礎講義棟 2階講義室
2	20			土	血液部門講演会「血液 R-CPC的データの読み方」 会場：川崎医科大学現代医学教育博物館 生理部門講演会「ALSなどの神経筋疾患における電気生理検査 ～反復刺激検査のライブデモを含めて～」 会場：川崎医科大学附属病院 11階東 臨床教育研修センター		
	25			木	玉野地区講演会「血液自動分析装置 ヒストグラムス・キャットプロットの見方」 会場：玉野三井病院 会議室		
	28			日	輸血部門講演会「輸血の困ったを解決する」 会場：岡山大学病院 地域医療人育成センターおかやま (MUSCAT CUBE)		
3	6			日	第46回岡山医学検査学会「残余検体は誰のもの？検査業務・研究と倫理のはざま(仮)」 会場：川崎医療短期大学		
4							
5							

		5			
同好会等	28	1			
		2			
		3			
		4			
		5			
		1	23	土	平成27年度臨時総会
		2			
		3			
		4			
		5			
日臨技	28	1			
		2			
		3			
		4			
		5			